

「木造住宅耐震診断支援ソフトにいがた 2012 ver4.2.3」

入力の手順

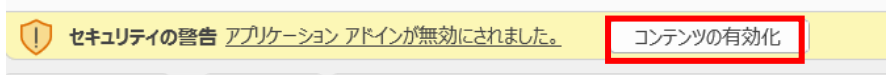
令和 8 年 3 月 13 日（金）

目 次

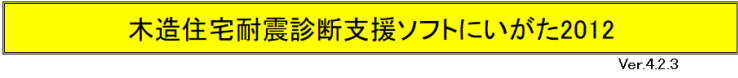
1. ソフトの起動	3
2. 初期データの入力	4
3. 耐震診断計算データの入力	5
3.1 建物概要・基本事項の入力	5
3.2 基準軸座標の入力（通りの入力）	10
3.3 床データの入力	13
3.4 耐力要素の仕様の入力	17
3.5 耐力要素の入力	20
3.6 接合部の種類および接合部の低減係数の作図	28
3.7 耐力図の作図	29
3.8 劣化低減係数の入力	30
3.9 必要耐力の計算・配置による低減係数の計算・評点の計算	32
4. 現地調査結果の入力	35
5. 地盤・地形・基礎の入力	37
6. 耐震診断結果の入力	38
7. 報告書の入力	38
8. 印刷・プレビューする	41
9. 終了する	42
10. その他	41.
11. 補強設計	43
12. 伏図の作図	52
13. 軸組図の作成	53

1. ソフトの起動

(1) マクロを有効にする

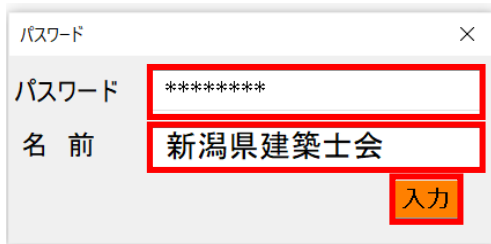


(2) 開始する

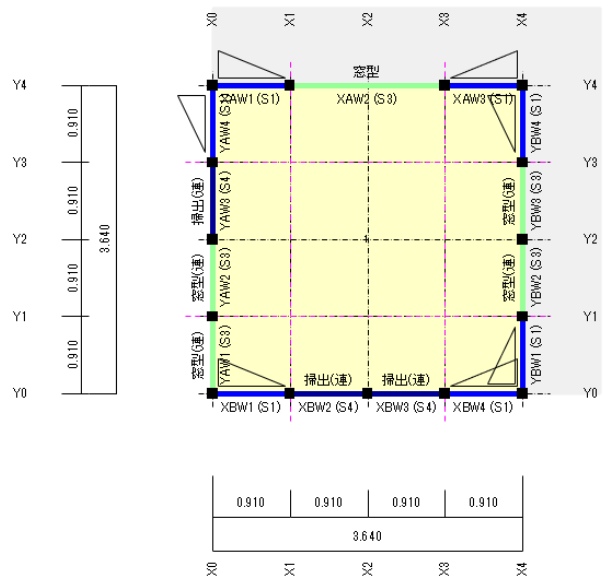
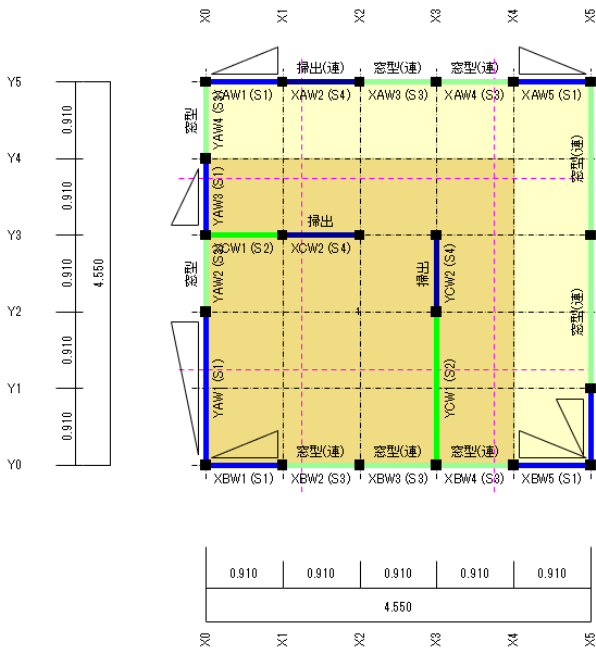


令和 8年 4月

(3) パスワード, 名前の入力



(例題)



2. 初期データの入力

計算書作成項目

初期化する

初期データの入力

現地調査表より読み込み

直接入力

耐震診断計算

報告書等

作図

地盤・地形・基礎の入力

現地調査表より読み込み

直接入力

耐震補強

既存データの読み込み

Ver2以前 Ver3以降

建物等 耐力要素 平面図

診断結果等 作図 伏図 平面図(補強前)

初期データ新規入力

地区 受付番号 診断内容 現況診断 補強後診断

受託者名・判定会

受託者名

団体名 代表者役職 氏名

判定会

名称

依頼者

氏名 住所

建物の名称等

建物名称 所在地

建物の種類

平屋建ての建物

専用住宅

事務所

店舗

集会場(固定席)

集会場(その他)

2階建ての建物

専用住宅

併用住宅[2階が住宅部分である]

事務所[2階に事務所部分がある]

店舗[2階に店舗がある]

集会場(固定席)[2階に固定席の集会場がある]

集会場(その他)[2階にその他の集会場がある]

耐震診断者1 登録番号の変更

耐震診断者2

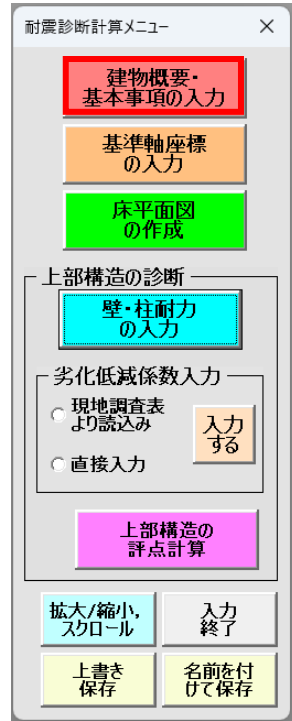
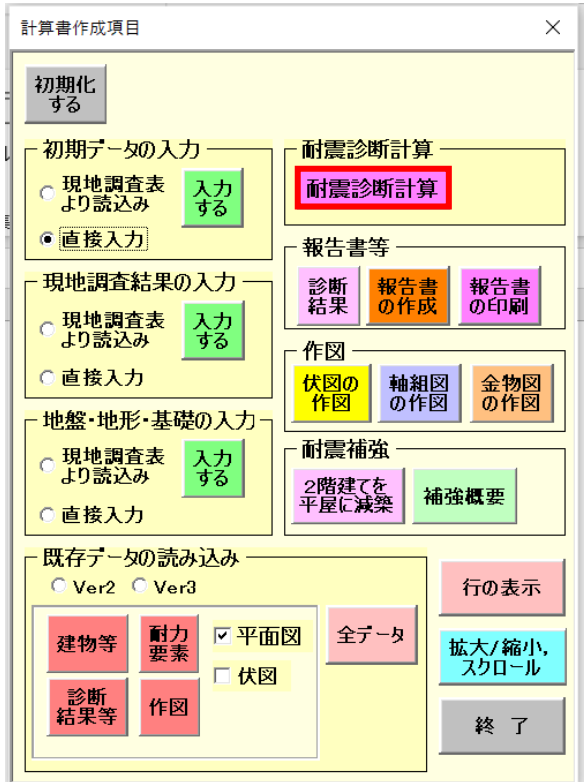
氏名 番号

入力・選択事項

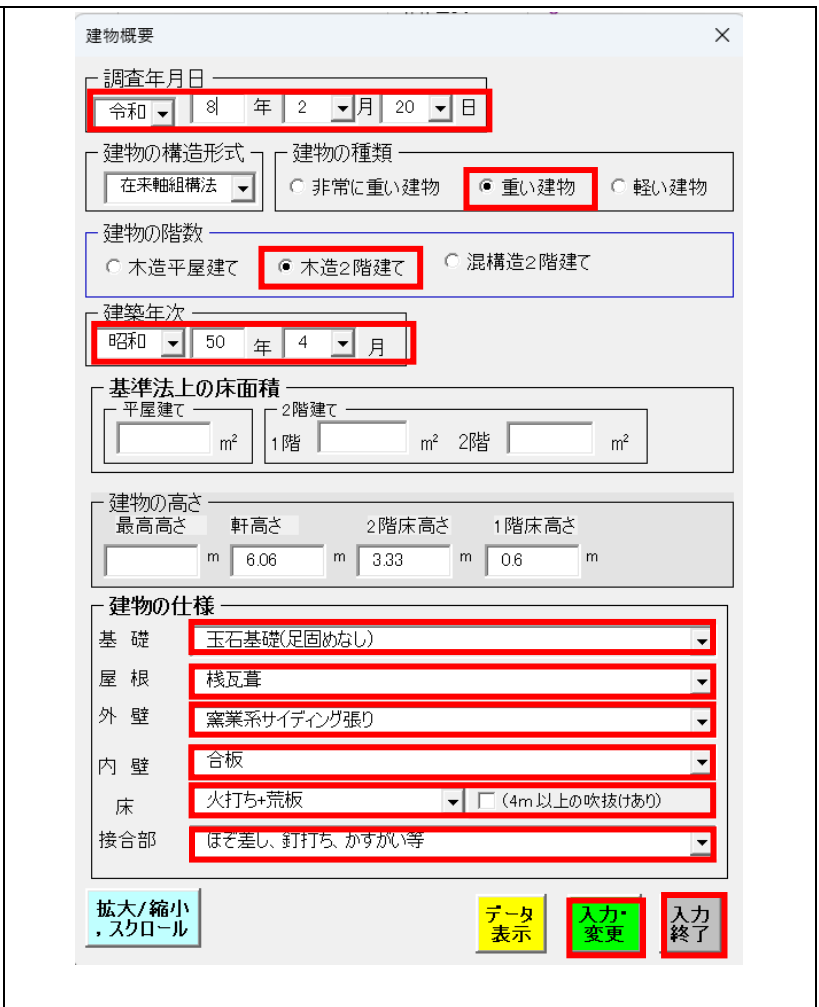
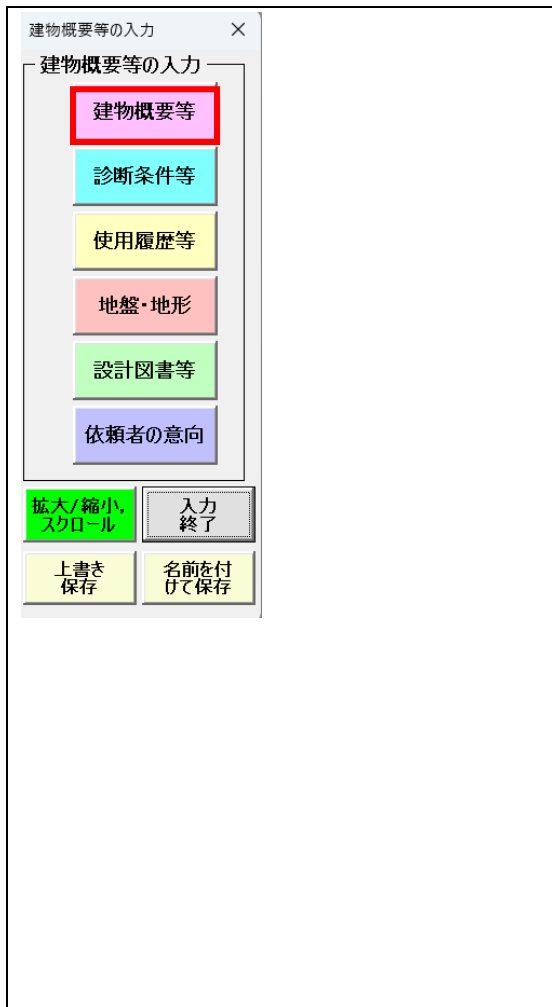
- ・ 地区
- ・ 受付番号
- ・ 受託者名, 代表者役職, 氏名
- ・ 判定会名称
- ・ 依頼者名, 住所
- ・ 建物の名称等, 所在地 (住所と所在地が同じ場合は、所在地の入力はしなくてもよい)
- ・ 建物の種類

3. 耐震診断計算データの入力

3.1 建物概要・基本事項の入力



(1) 建物概要等の入力



■ 入力・選択事項

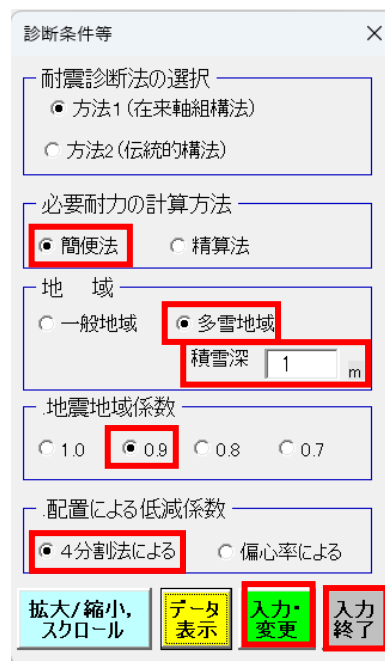
- ・ 調査年月日
- ・ 建物の種類
- ・ 建物の階数
- ・ 建築年次
- ・ 建物の仕様（基礎，屋根，外壁，内壁，床，接合部）：選択項目から選択する
- ・ 基準法上の床面積（診断計算では使用しない。入力しなくてもよい。）

耐震診断計算用の床面積は、ソフト内で自動計算する。

- ・ 建物の高さ

床伏図，軸組図を作成しない場合は、入力しなくてもよい。

(2) 診断条件等の入力



■ 入力・選択事項

- ・ 必要耐力の計算方法
- ・ 地域（多雪地域を選択した場合には、積雪量）
- ・ 地震地域係数
- ・ 配置による低減係数の計算方法（必要耐力の計算方法で精算法を選択した場合は、偏心率によるとする。）

(3) 使用履歴の入力

建物概要等の入力

建物概要等の入力

- 建物概要等
- 診断条件等
- 使用履歴等
- 地盤・地形
- 設計図書等
- 依頼者の意向

拡大/縮小、スクロール | 入力終了

上書き保存 | 名前を付けて保存

使用履歴等

使用履歴

増改築

増改築の有無 有 無 実施年 年

規模と内容

改修

改修の有無 有 無 実施年 平成 10 年

規模と内容

水周りの改修

補強

補強の有無 有 無 実施年 年

規模と内容

用途変更

用途変更の有無 有 無 実施年 年

規模と内容

拡大/縮小、スクロール | データ表示 | 入力変更 | 入力終了

■ 入力・選択事項

- ・ 増改築の有無、有の場合は実施年、実施内容
- ・ 改修の有無、有の場合は実施年、実施内容
- ・ 補強の有無、有の場合は実施年、実施内容
- ・ 用途変更の有無、有の場合は実施年、実施内容

(4) 地盤・地形の入力

建物概要等の入力

建物概要等の入力

- 建物概要等
- 診断条件等
- 使用履歴等
- 地盤・地形**
- 設計図書等
- 依頼者の意向

拡大/縮小、スクロール | 入力終了

上書き保存 | 名前を付けて保存

地盤・地形

地盤の状況

- 良い地盤
- 普通の地盤**
- 悪い地盤 (地盤改良を行っている)
- 悪い地盤 (杭基礎である)
- 悪い地盤 (特別な対策を行っていない)
- 悪い地盤 (著しい軟弱地盤, 自治体確認)

地形

- 平坦地**
- 崖地・急傾斜地 (コンクリート擁壁)
- 崖地・急傾斜地 (石積擁壁)
- 崖地・急傾斜地 (特別な対策を行っていない)

拡大/縮小、スクロール | データ表示 | **入力・変更** | **入力終了**

■ 入力・選択事項

- ・ 地盤の状況
- ・ 地形の状況

(5) 設計図書等の入力

建物概要等の入力

建物概要等の入力

- 建物概要等
- 診断条件等
- 使用履歴等
- 地盤・地形
- 設計図書等**
- 依頼者の意向

拡大/縮小、スクロール | 入力終了

上書き保存 | 名前を付けて保存

設計図書等

設計図書の有無

建築確認図書等

有無: 無 有

図面の種類: 平面 立面 軸組 基礎 床組図

融資関連図書

有無: 無 有

図面の種類: 平面 立面 軸組 基礎 床組図

設計図書

有無: 無 有

図面の種類: 平面 立面 軸組 基礎 床組図

図面と現地調査との相違

(1階平面)

相違の有無: 有 無

相違内容: 窓の位置

(2階平面)

相違の有無: 有 無

相違内容:

(立面)

相違の有無: 有 無

相違内容: 窓の位置

(筋かい)

相違の有無: 有 無

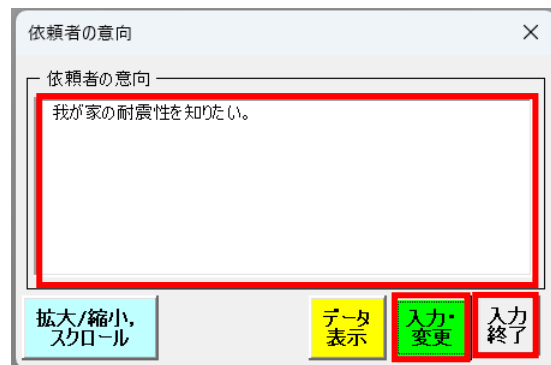
相違内容:

拡大/縮小、スクロール | データ表示 | **入力・変更** | **入力終了**

■ 入力・選択事項

- ・設計図書等の有無（建築確認図書等，融資関連図書等，設計図書等），有りの場合は図面の種類
- ・図面と現地調査結果の相違，有りの場合は相違内容

(6) 依頼者の意向の入力



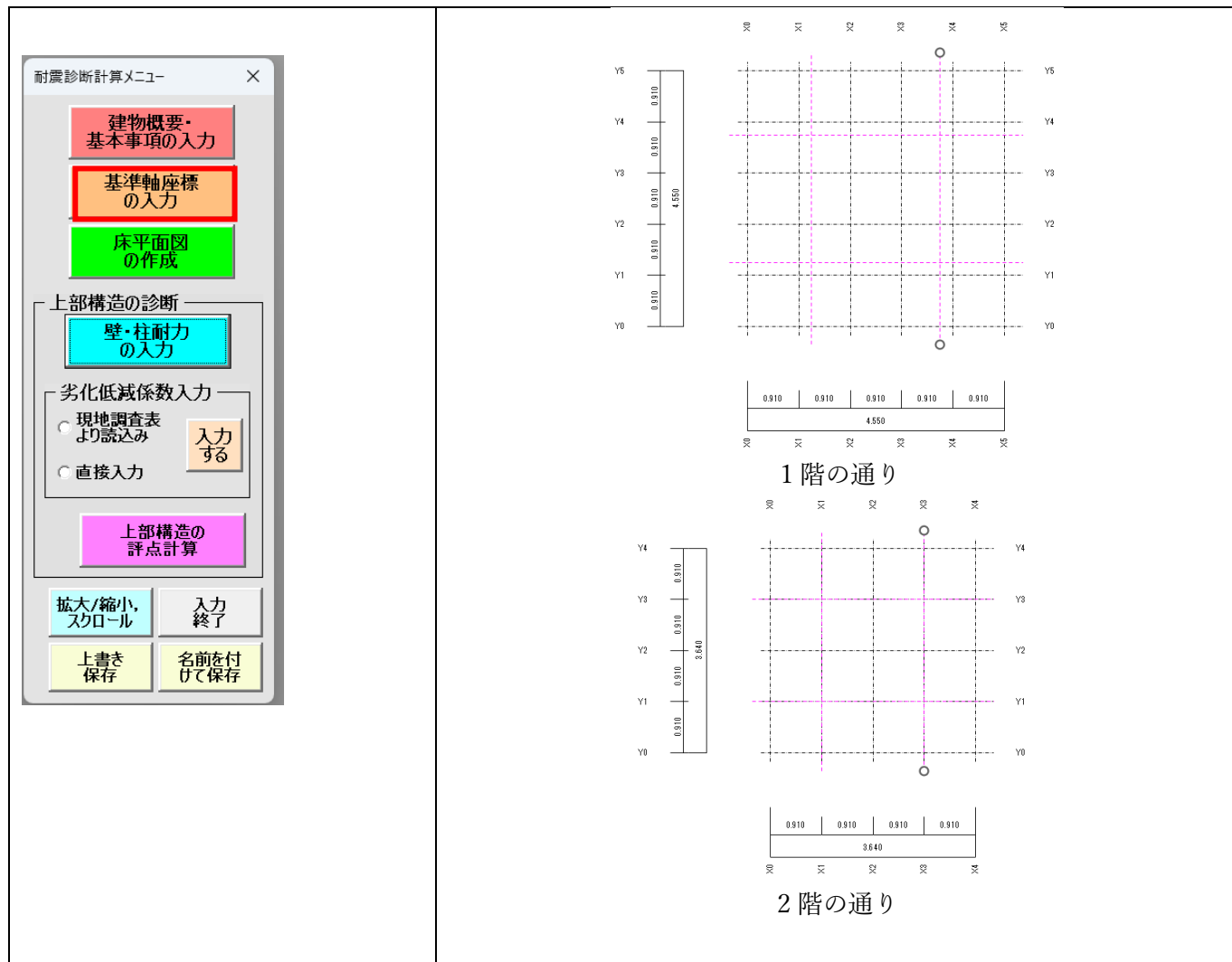
■ 入力・選択事項

- ・依頼者の意向

(7) 建物概要等の入力の終了



3.2 基準軸座標の入力（通りの入力）



(1) 通りの入力

X軸の入力

Y軸の入力

■ 入力・選択事項

方向

基準となる通りの入力 (0通りとする)

通りの間隔

隣の通りから上記間隔の終了する通り

(2) 4分割線のデータ入力

各階の最大軸、最小軸(4分割線作図用)

2階建ての1階部分または平屋建て

最小軸 (X 0 通り, Y 0 通り)

最大軸 (X 5 通り, Y 5 通り)

2階建ての2階部分

最小軸 (X 0 通り, Y 0 通り)

最大軸 (X 4 通り, Y 4 通り)

軸を表示 軸を入力

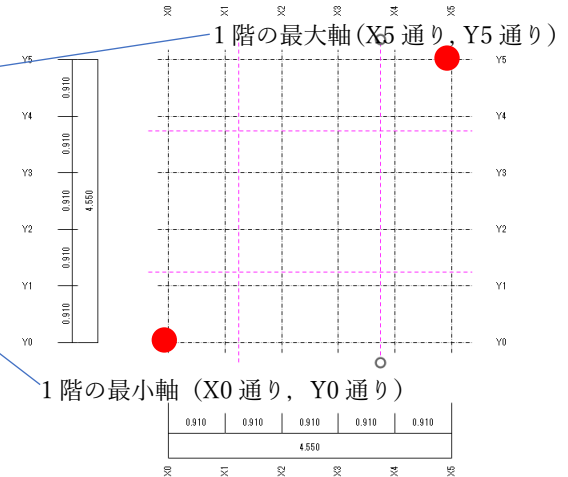
通りの並び替え 通りデータ表示

通里心を作図する

1階 2階

階の指定 作図する 削除する 印刷する

通りの並び替え 拡大/縮小、スクロール 入力終了



1階の最小軸の X, Y 通りを入力

1階の最大軸の X, Y 通りを入力

2階も同様

■ 軸を追加する場合

(例) 6 通りに +0.455 の軸を追加する場合

軸を追加する

6 通りから 0.455 m に軸を追加する。 軸を追加

■ 軸を削除する場合

(例) 7 通りを削除する場合

軸を削除する

7 通りを削除する。 軸を削除

■ 基準寸法が異なる場合の入力の方法

X0~X5 通りまでが通り間隔が 910mm

X5~X8 通りまでが通り間隔が 455mm

X8~X9 通りまでが通り間隔が 1,365mm

通里心の座標

方向の入力

X 通りを入力する。 Y 通りを入力する。

新規入力 通りを直接入力

通りを入力する。

基準通りの座標 0 m 隣通り 等間隔の終わり通り

通りの間隔 0.91 m 1 通り ~ 5 通り

通りを入力

通里心の座標

方向の入力

X 通りを入力する。 Y 通りを入力する。

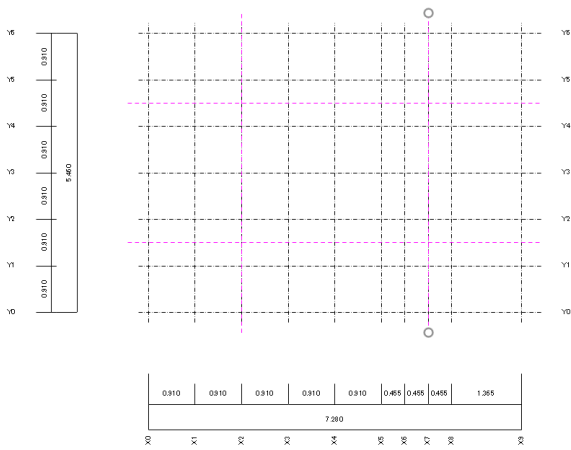
新規入力 通りを直接入力

通りを入力する。

基準通りの座標 0 m 隣通り 等間隔の終わり通り

通りの間隔 0.455 m 6 通り ~ 8 通り

通りを入力



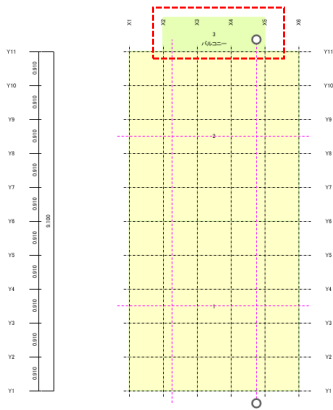
通り心の座標

方向の入力
 X通りを入力する。
 Y通りを入力する。

新規入力 通りを直接入力

通りを入力する。
 基準通りの座標 0 m 隣通り 等間隔の終わり通り
 通りの間隔 1.365 m 9 通り~ 9 通り
 通りを入力

- 図のように跳ね出しバルコニーがある場合
通り軸を設け、跳ね出しバルコニーにチェックする。



各階の最大軸、最小軸(4分割線作図用)

2階建ての1階部分または平屋建て

最小軸 (X 通り, Y 通り)
 最大軸 (X 通り, Y 通り)

2階建ての2階部分

最小軸 (X 通り, Y 通り)
 最大軸 (X 通り, Y 通り)

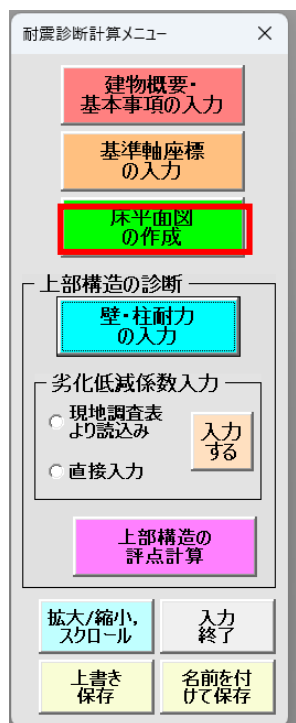
最大軸 軸を表示 軸を入力

最大軸
 建物本体 (屋根部分)
 (2階床部)
 (下屋部分)

最小軸 跳ね出しバルコニー

最大軸、最小軸は建物本体で設定します。跳ね出しバルコニーからは設定できません。跳ね出しバルコニーがある場合はチェックボックスをチェックしてください。

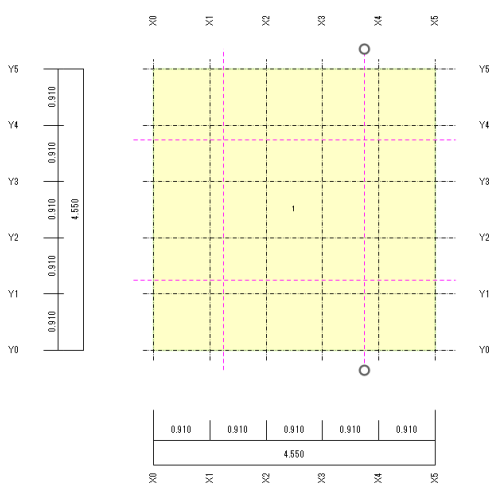
3.3 床データの入力



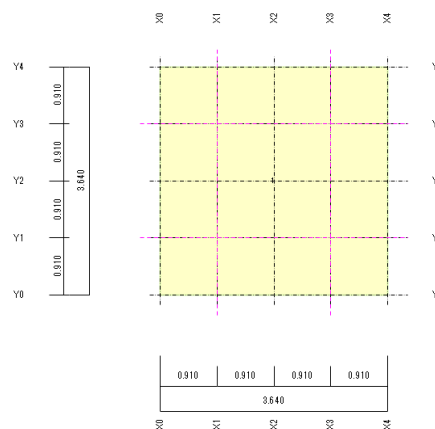
平面を長方形または三角形に分割して、入力する。

分割数：1階 20個

2階 15個

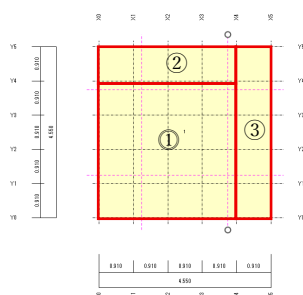


1階



2階

1階の入力



入力階 **1階** 2階 **入力階の指定** **入力階の変更** バルコニーである 物置である 吹き抜けである 平均高さ(h) (m)

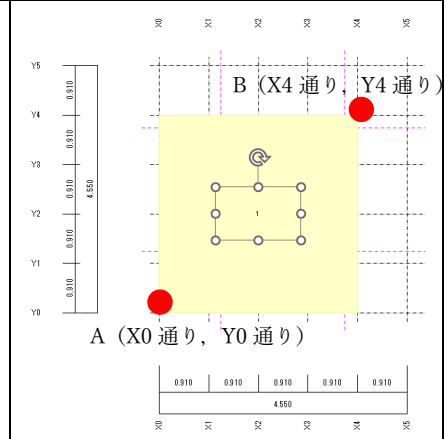
図形データの入力
座標データ
分割した面積番号 1

形状および座標
図形の形状 矩形 三角形

図形の座標値
 $(X_A, Y_A) = (0 \text{ 通り} + \text{ } m, 0 \text{ 通り} + \text{ } m)$
 $(X_B, Y_B) = (4 \text{ 通り} + \text{ } m, 4 \text{ 通り} + \text{ } m)$
 $(X_C, Y_C) = (XC=XA, \text{ } \text{ 通り} + \text{ } m)$

注1) ΔX , ΔY は、A点、B点およびC点の通り心からのずれである。(単位; m)
 注2) 小屋裏等の場合は、2階・1階に同じ値を入力する。(ただし、物置面積が床面積の1/8以下の場合には考慮しなくてもよい)。

既存データの変更 変更階 面積番号 表示する 変更する
 入力データの確認 入力データ確認 確認終了 既存データの削除 階の入力終了 **データの入力**



分割した矩形の左隅下のX通り、Y通りを入力 (A点)
 分割した矩形の右隅上のX通り、Y通りを入力 (B点)

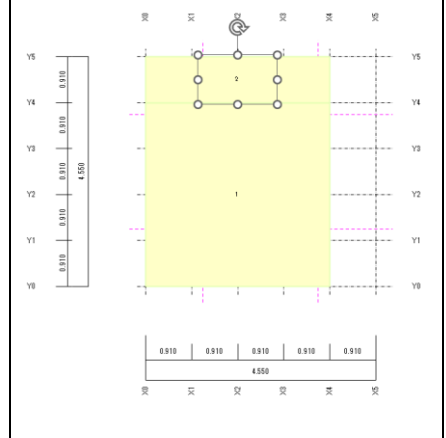
図形データの入力
座標データ
分割した面積番号 2

形状および座標
図形の形状 矩形 三角形

図形の座標値
 $(X_A, Y_A) = (0 \text{ 通り} + \text{ } m, 4 \text{ 通り} + \text{ } m)$
 $(X_B, Y_B) = (4 \text{ 通り} + \text{ } m, 5 \text{ 通り} + \text{ } m)$
 $(X_C, Y_C) = (XC=XA, \text{ } \text{ 通り} + \text{ } m)$

注1) ΔX , ΔY は、A点、B点およびC点の通り心からのずれである。(単位; m)
 注2) 小屋裏等の場合は、2階・1階に同じ値を入力する。(ただし、物置面積が床面積の1/8以下の場合には考慮しなくてもよい)。

既存データの変更 変更階 面積番号 表示する 変更する
 入力データの確認 入力データ確認 確認終了 既存データの削除 階の入力終了 **データの入力**



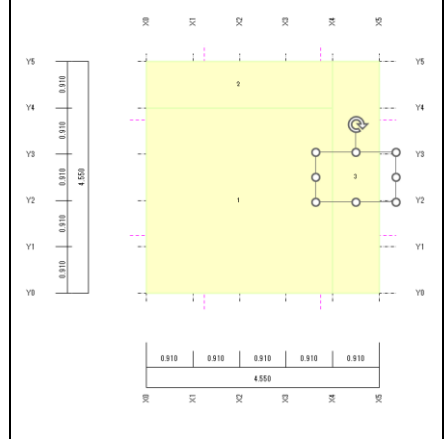
図形データの入力
座標データ
分割した面積番号 3

形状および座標
図形の形状 矩形 三角形

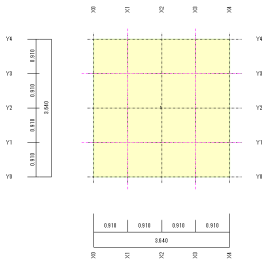
図形の座標値
 $(X_A, Y_A) = (4 \text{ 通り} + \text{ } m, 0 \text{ 通り} + \text{ } m)$
 $(X_B, Y_B) = (5 \text{ 通り} + \text{ } m, 5 \text{ 通り} + \text{ } m)$
 $(X_C, Y_C) = (XC=XA, \text{ } \text{ 通り} + \text{ } m)$

注1) ΔX , ΔY は、A点、B点およびC点の通り心からのずれである。(単位; m)
 注2) 小屋裏等の場合は、2階・1階に同じ値を入力する。(ただし、物置面積が床面積の1/8以下の場合には考慮しなくてもよい)。

既存データの変更 変更階 面積番号 表示する 変更する
 入力データの確認 入力データ確認 確認終了 既存データの削除 階の入力終了 **データの入力**



2階の入力



建物形状の入力

入力階

1階 2階

入力階の指定

入力階の変更

小屋裏物置等

バルコニーである

吹き抜けである

物置である

平均高さ(h) (m)

図形データの入力

座標データ

分割した面積番号 1

形状および座標

図形の形状

矩形

三角形

図形の座標値

(XA, YA) = (通り + m , 通り + m)

(XB, YB) = (通り + m , 通り + m)

(XC, YC) = (, 通り + m)

注1) ΔX、ΔYは、A点、B点およびC点の通り心からのずれである。(単位; m)

注2) 小屋裏等の場合は、2階・1階に同じ値を入力する。(たし、物置面積が床面積の1/8以下の場合には考慮しなくてもよい)。

既存データの変更

変更階 面積番号

表示する

変更する

入力データの確認

入力データ確認

確認終了

既存データの削除

階の入力終了

データの

■ 入力・選択事項

入力階

分割した図形の番号

A点のX通りおよびY通り，B点のX通りおよびY通り（3角形の場合は，C点のX通りおよびY通り）

隣の通りから上記間隔の終了する通り

1階または2階のデータを入力後、入力階の変更を指示すると入力階が変更され、分割面積番号が1となる。

建物形状の入力

入力階

1階 2階

入力階の指定

入力階の変更

小屋裏物置等

バルコニーである

吹き抜けである

物置である

平均高さ(h) (m)

■ バルコニーのデータは1階に入力する。

建物形状の入力

入力階

1階 2階

入力階の指定

入力階の変更

小屋裏物置等

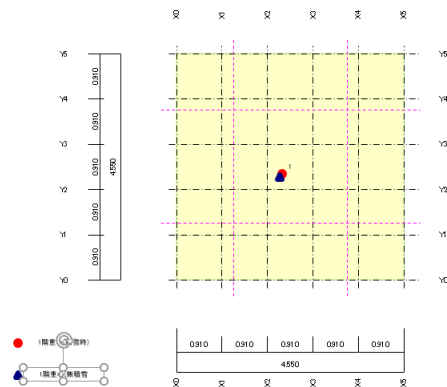
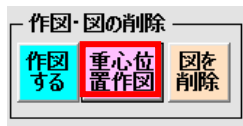
バルコニーである

吹き抜けである

物置である

平均高さ(h) (m)

■ 重心位置の作図



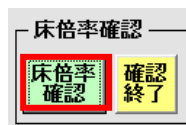
■ 床倍率を入力したい場合には、床仕様等を選択・入力する。

床倍率

床仕様1 構造用合板12mm以上又は構造用パネル1・2級以上、根太@340以下転ばし、N50@150以下

床仕様2 なし

屋根仕様 なし



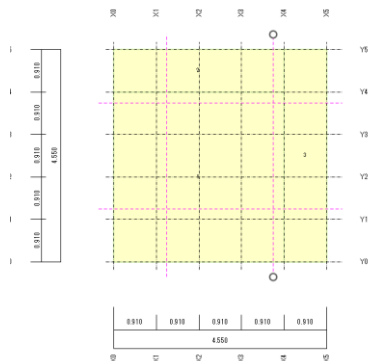
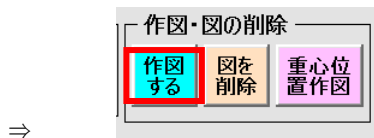
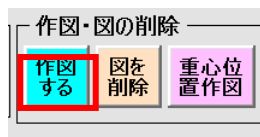
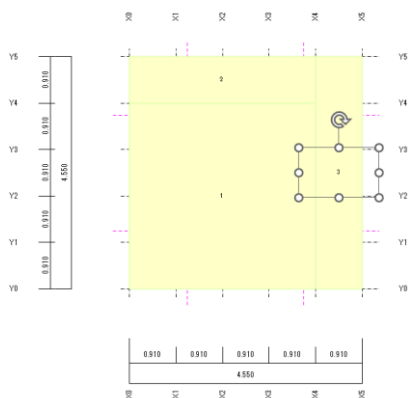
入力結果

1階床倍率

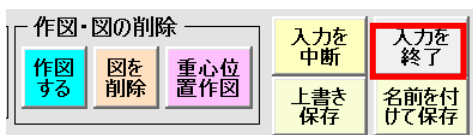
床番号	床の仕様			床倍率			床倍率	床面積	床倍率×床面積
	床1	床2	屋根	床1	床2	屋根			
1	仕様11	仕様30	仕様30	0.3	0		0.3	20.70	6.21
							合計	20.70	6.21

$$\text{平均床倍率} = \frac{6.21}{20.70} = 0.30$$

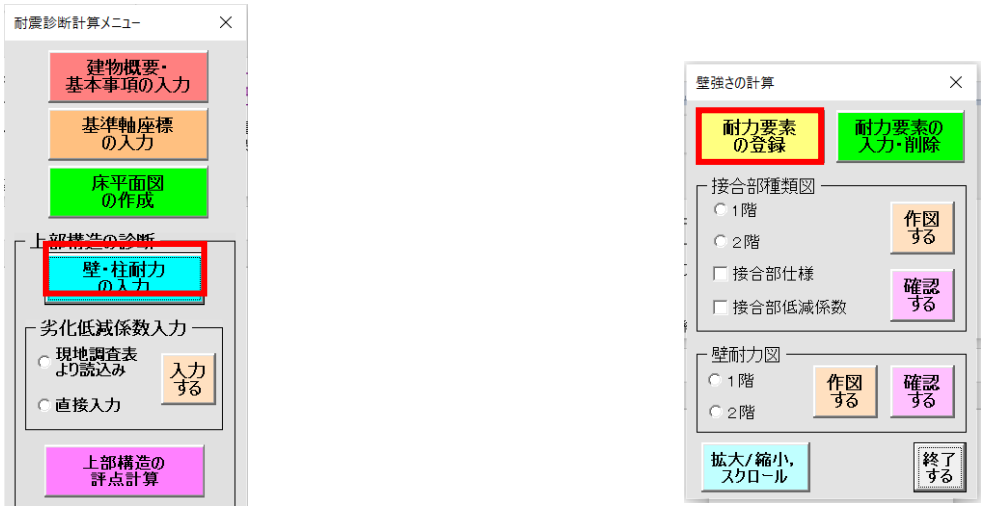
■ 図を削除後、作図するを指示すると通り心が最前面に作図される。



■ 床の入力を終了する



3.4 耐力要素の仕様の入力



■ 入力する耐力壁の仕様

耐力要素の耐力の上限は、10kN/mである。
不明の壁の場合、耐力は2kN/mである。

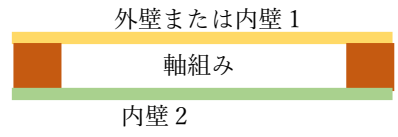
仕様番号	仕様		基準耐力 (kN/m) (kN)	耐力 (kN/m) (kN)	
1 (既存部材)	無開口壁	なし	0.000	1.900	耐震診断基準
		筋かい(木材30×90以上, 釘打ち, 片筋かい)	1.900		
2 (既存部材)	無開口壁	合板(厚3以上, 直張り)	0.900	1.800	耐震診断基準
		なし	0.000		
3 (既存部材)	窓型開口	なし	0.000	0.600	耐震診断基準
		窓型開口	0.600		
4 (既存部材)	掃き出し型開口	なし	0.000	0.300	耐震診断基準
		掃き出し型開口	0.300		
		なし	0.000	0.300	

■ 壁の構成仕様 1 (耐力要素の登録番号 1)

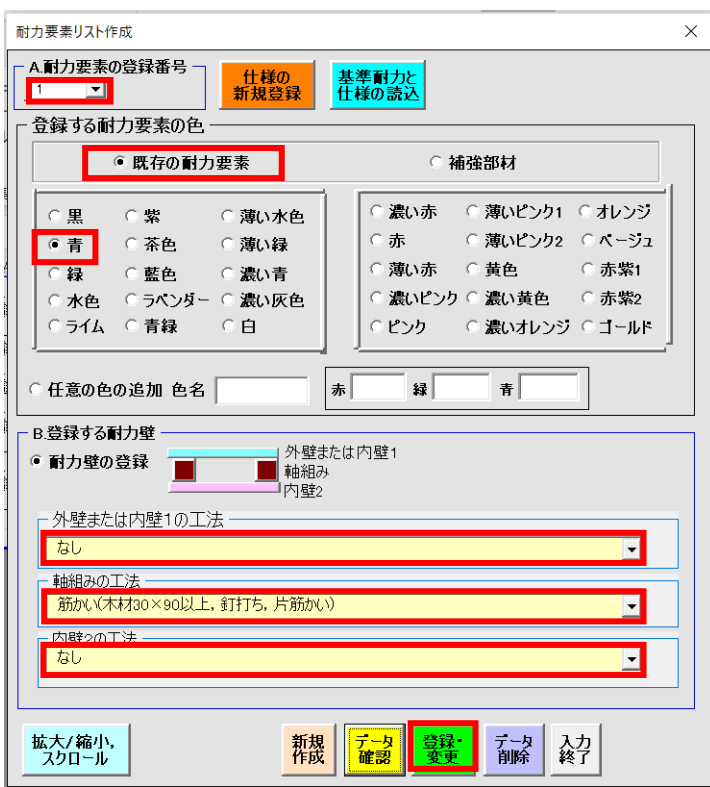
1 (既存部材)	無開口壁	なし 筋かい(木材30×90以上, 釘打ち, 片筋かい) なし
-------------	------	---------------------------------------

入力・選択事項

- ・ 耐力要素の登録番号 (仕様番号)
- ・ 既存か補強か
- ・ 耐力要素の書込みの色
- ・ 耐力要素を構成する仕様 (外壁または内壁, 軸組み, 内壁)
(窓型開口および掃き出し開口は, 軸組みの工法より選択。それ以外はなしとする。)



耐力要素の登録番号は自動送りとなる。



■ 壁の構成仕様 2

2	無開口壁	合板(厚3以上, 直張り)
(既存部材)		なし
		合板(厚3以上, 直張り)

耐力要素リスト作成

A 耐力要素の登録番号
2

仕様の
新規登録

基準耐力と
仕様の読込

登録する耐力要素の色

既存の耐力要素

補強部材

黒 紫 薄い水色
 青 茶色 薄い緑
 緑 藍色 濃い青
 水色 ラベンダー 濃い灰色
 ライム 青緑 白

濃い赤 薄いピンク1 オレンジ
 赤 薄いピンク2 ベージュ
 薄い赤 黄色 赤紫1
 濃いピンク 濃い黄色 赤紫2
 ピンク 濃いオレンジ ゴールド

任意の色の追加 色名 赤 緑 青

B 登録する耐力壁

耐力壁の登録

外壁または内壁1
軸組み
内壁2

外壁または内壁1の工法
合板(厚3以上, 直張り)

軸組みの工法
なし

内壁2の工法
合板(厚3以上, 直張り)

拡大/縮小,
スクロール

新規
作成

データ
確認

登録・
変更

データ
削除

入力
終了

■ 窓型開口壁の仕様

3	窓型開口	なし
(既存部材)		窓型開口
		なし

耐力要素リスト作成

A 耐力要素の登録番号
3

仕様の
新規登録

基準耐力と
仕様の読込

登録する耐力要素の色

既存の耐力要素

補強部材

黒 紫 薄い水色
 青 茶色 薄い緑
 緑 藍色 濃い青
 水色 ラベンダー 濃い灰色
 ライム 青緑 白

濃い赤 薄いピンク1 オレンジ
 赤 薄いピンク2 ベージュ
 薄い赤 黄色 赤紫1
 濃いピンク 濃い黄色 赤紫2
 ピンク 濃いオレンジ ゴールド

任意の色の追加 色名 赤 緑 青

B 登録する耐力壁

耐力壁の登録

外壁または内壁1
軸組み
内壁2

外壁または内壁1の工法
なし

軸組みの工法
窓型開口

内壁2の工法
なし

拡大/縮小,
スクロール

新規
作成

データ
確認

登録・
変更

データ
削除

入力
終了

窓型開口, 掃き出し開口は軸組み工法のリストにある。

■ 掃出し開口壁の仕様

3	窓型開口	なし
(既存部材)		窓型開口
		なし

耐力要素リスト作成

A 耐力要素の登録番号
4

仕様の新規登録 基準耐力と仕様の読込

登録する耐力要素の色

既存の耐力要素 補強部材

黒 紫 薄い水色
 青 茶色 薄い緑
 緑 藍色 濃い青
 水色 ラベンダー 濃い灰色
 ライム 青緑 白

濃い赤 薄いピンク1 オレンジ
 赤 薄いピンク2 ペーシェ
 薄い赤 黄色 赤紫1
 濃いピンク 濃い黄色 赤紫2
 ピンク 濃いオレンジ ゴールド

任意の色の追加 色名 赤 緑 青

B 登録する耐力壁

耐力壁の登録

外壁または内壁1 軸組み 内壁2

外壁または内壁1の工法
なし

軸組みの工法
掃き出し型開口

内壁2の工法
なし

拡大/縮小、スクロール 新規作成 データ確認 登録・変更 データ削除 入力終了

■ 評価された耐力要素の基準耐力と仕様

ファイルより読み込む（木耐震 2012V10 壁基準耐力と仕様.xlsx で仕様を作成し、そのデータを読み込む）

耐力要素リスト作成

A 耐力要素の登録番号
4

仕様の新規登録 基準耐力と仕様の読込

OneDrive - Personal

PC

3D オブジェクト

ダウンロード

デスクトップ

ドキュメント

ピクチャ

ビデオ

ミュージック

Windows8_OS (C:)

DATA (D:)

USB ドライブ (F:)

名前	更新日時	種類	サイズ
資料1 手順2024.docx	2024/03/02 23:17	Microsoft Word 文...	12,856 KB
資料2 演習問題.docx	2024/03/02 23:54	Microsoft Word 文...	237 KB
木耐診2012V10壁基準耐力と仕様.xlsx	2021/03/18 12:00	Microsoft Excel ワ...	18 KB

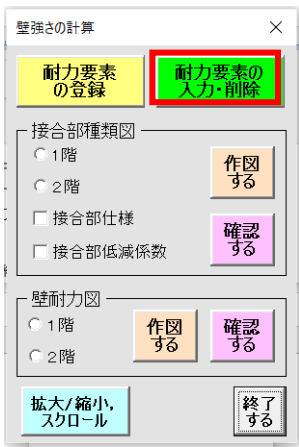
ファイル名(N): 木耐診2012V10壁基準耐力と仕様.xlsx Excelファイル (*.***)

ツール(L) 開く(O) キャンセル

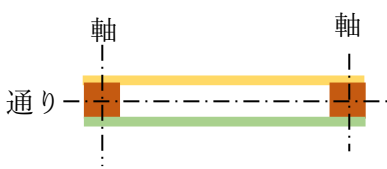
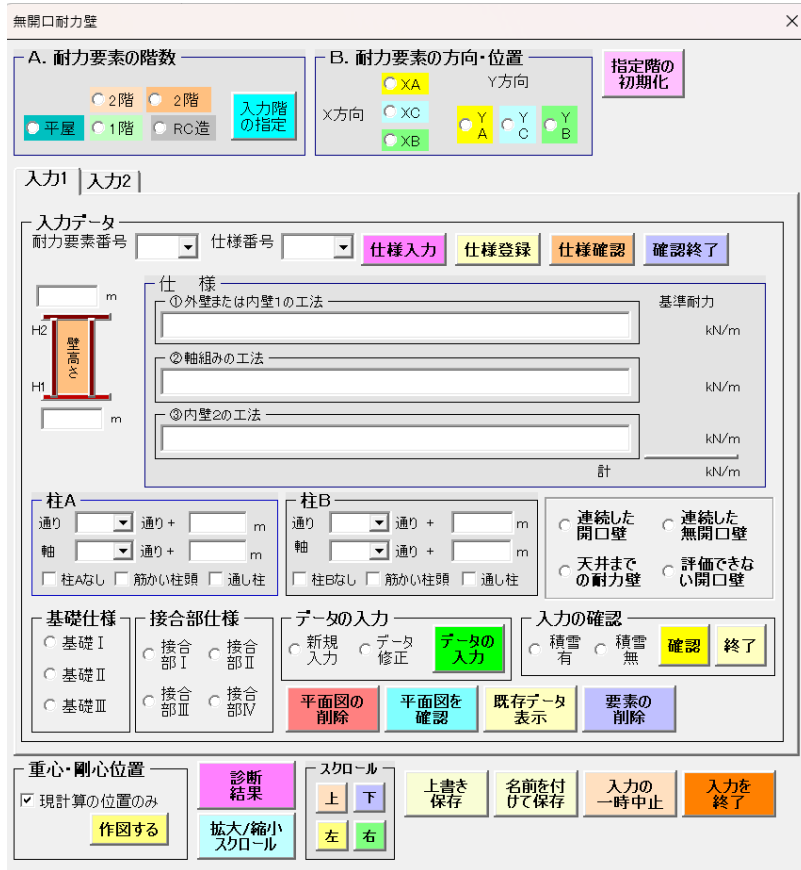
■ 耐力要素の登録の終了

拡大/縮小、スクロール 新規作成 データ確認 登録・変更 データ削除 入力終了

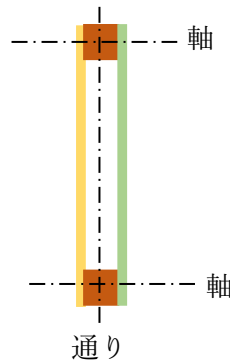
3.5 耐力要素の入力



⇒



X方向の耐力壁



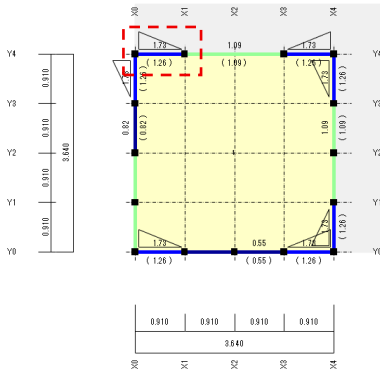
Y方向の耐力壁

2階の耐力要素の配置

入力階の指示



■ 耐力壁の入力



領域：側端部分 XA

耐力要素番号 1

耐力壁の仕様番号 1

Y4 通り

X0~X1 間

無開口耐力壁

A. 耐力要素の階数
 2階 2階 1階 RC造

B. 耐力要素の方向・位置
 XA Y方向
 XC Y A Y C Y B
 XB

指定階の初期化

入力1 入力2

入力データ
 耐力要素番号 1 仕様番号 1

仕様
 ①外壁または内壁1の工法 基準耐力 0.00 kN/m
 なし
 ②軸組みの工法 1.90 kN/m
 筋かい(木材30×90以上、釘打ち、片筋かい)
 ③内壁2の工法 0.00 kN/m
 なし
 計 1.90 kN/m

柱A
 通り 4 通り+ m
 軸 0 通り+ m
 柱なし 筋かい柱頭 通し柱

柱B
 通り 通り+ m
 軸 通り+ m
 柱なし 筋かい柱頭 通し柱

連続した開口壁 連続した無開口壁
 天井までの耐力壁 評価できない開口壁

基礎仕様 基礎Ⅰ 基礎Ⅱ 基礎Ⅲ

接合部仕様 接合部Ⅰ 接合部Ⅱ 接合部Ⅲ 接合部Ⅳ

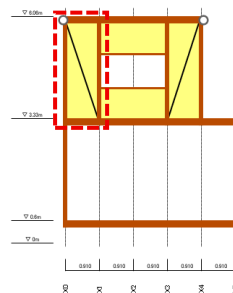
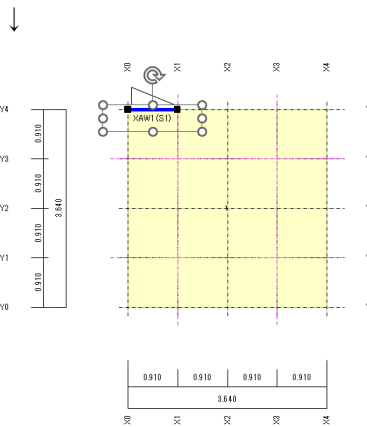
データの入力 新規入力 データ修正

入力の確認 積雪有 積雪無

重心・剛心位置 現計算の位置のみ

診断結果

スクロール



■ 入力・選択事項

階

壁の位置 (側端部分 A, 中央部分, 側端部分 B)

耐力要素番号

仕様番号

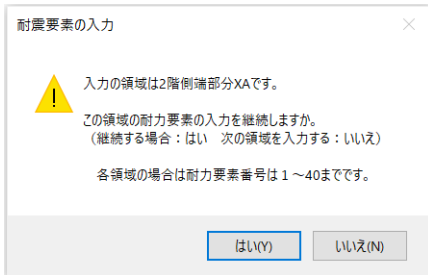
耐力壁の通り, 柱 A の通り, 柱 B の通り

筋かいがある場合には, 柱頭にとりつく軸にチェック (たすき掛けの場合は, 両方の軸にチェック)

基礎の仕様

接合部の仕様

新規入力か既存データの変更か



同じ領域に耐力要素がある場合には「はい」を指示する。

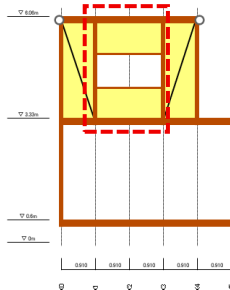
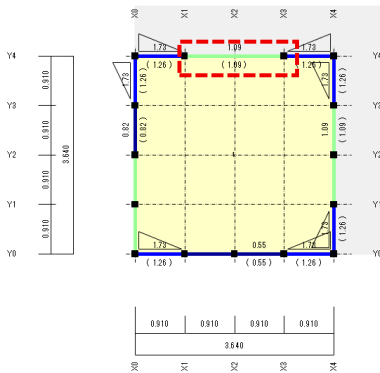
⇒ 耐力要素番号は自動的に1加算した番号となる。

同じ領域に耐力要素がある場合には「いいえ」を指示する。

⇒ 耐力要素番号は自動的に1となる。

以下、各領域ともに同じ。

■ 単独開口壁の入力(隣の区間が耐力壁であることを確認する)



領域：側端部分 XA

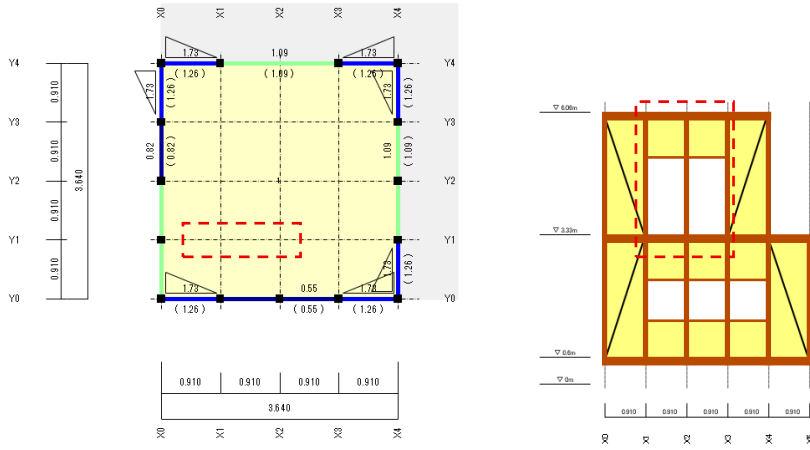
耐力要素番号 2

耐力壁の仕様番号 3

Y4 通り

X1~X3 間

■ 連続開口の入力



Y0 通り X1-X2 間、X2-X3 間は連続した掃出し開口壁である。(隣の区間が耐力壁であることを確認する)

X1-X2 間

無開口耐力壁

A. 耐力要素の階数
 平屋 1階 R/C造 2階 2階

B. 耐力要素の方向・位置
 Y方向: XA XC XB
 X方向: YA YC YB

指定階の初期化

入力 | 入力2 |

入力データ
 耐力要素番号 仕様番号

仕様
 ①外壁または内壁1の工法 基準耐力 0.00 kN/m
 なし
 ②軸組みの工法 掃き出し型開口 0.30 kN/m
 ③内壁2の工法 なし 0.00 kN/m
 計 0.30 kN/m

柱A
 通り 通り+ m
 軸 通り+ m
 柱Aなし 筋かい柱頭 通し柱

柱B
 通り 通り+ m
 軸 通り+ m
 柱Bなし 筋かい柱頭 通し柱

連続した開口壁 連続した無開口壁
 天井までの耐力壁 評価できない開口壁

基礎仕様
 基礎Ⅰ 基礎Ⅱ 基礎Ⅲ

接合部仕様
 接合部Ⅰ 接合部Ⅱ 接合部Ⅲ 接合部Ⅳ

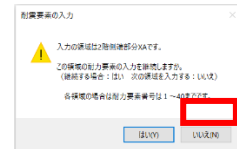
データの入力
 新規入力 データ修正 データの入力

入力の確認
 積雪有 積雪無

重なり・剛心位置
 現計算の位置のみ

スクロール

領域：側端部分 XB
 耐力要素番号 2
 耐力壁の仕様番号 4
 Y0 通り
 X1~X2 間
 (連続した開口壁)



無開口耐力壁

A. 耐力要素の階数
 2階 2階 RC造

B. 耐力要素の方向・位置
 Y方向: XA XC YB
 X方向: YA YC YB

指定階の初期化

入力 | 入力2 |

入力データ
 耐力要素番号: 3 仕様番号: 4

仕様
 ①外壁または内壁1の工法: なし 基準耐力: 0.00 kN/m
 ②軸組みの工法: 掃き出し型開口 0.30 kN/m
 ③内壁2の工法: なし 0.00 kN/m
 計: 0.30 kN/m

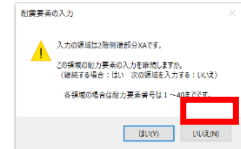
柱A: 通り 0 柱B: 通り 3 連続した開口壁 連続した無開口壁

基礎仕様: 基礎I 基礎II 基礎III
 接合部仕様: 接合部I 接合部II 接合部IV

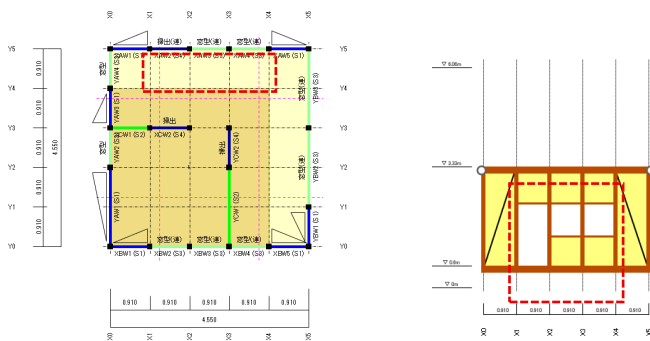
データの入力: 新規入力 データ修正

重み・剛心位置: 現計算の位置のみ

領域：側端部分XB
 耐力要素番号 3
 耐力壁の仕様番号 4
 Y0 通り
 X2~X3 間
 (連続した開口壁)



■ 掃き出し開口、窓型開口が連続する場合



側端部分XA	2	なし	0.00	0.0°	基礎Ⅲ (*)	0.910	0.000	(連)	1通り	2通り
	Y	仕様4	掃き出し型開口	0.30	<1.00				接合部Ⅳ	
	5通り	なし	0.00	0.30	1.000	0.910	0.000	(連)	3連続開口壁	
	3	なし	0.00	0.0°	基礎Ⅲ (*)					
	Y	仕様3	窓型開口	0.80	<1.00	接合部Ⅳ				
	5通り	なし	0.00	0.80	1.000	0.910	0.000	(連)	3通り	4通り
	4	なし	0.00	0.0°	基礎Ⅲ (*)					
	Y	仕様3	窓型開口	0.80	<1.00	接合部Ⅳ				
	5通り	なし	0.00	0.80	1.000	0.910	0.818	(2.730 m)		
	Y	仕様3	窓型開口	0.30	<1.00				接合部Ⅳ	

3連続壁長 (3mが上限)

掃き出し開口壁で評価

■ データの修正

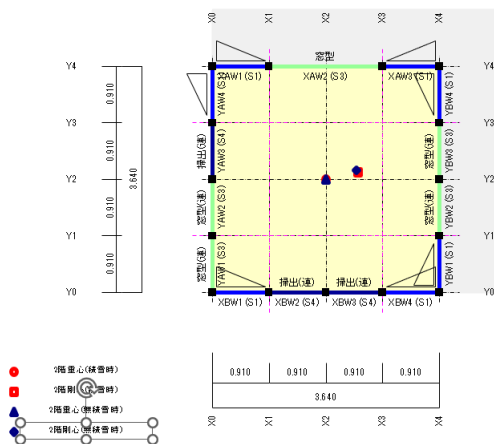
(ア) 既存データを表示する

変更データの階を指示 ⇒ 領域を指示 ⇒ 耐力要素番号を選択 ⇒ **既存データ表示**を指示
⇒ フォーム上に既存データが表示される

(イ) データを修正する

(ウ) データ修正を指示 ⇒ データの入力を指示

■ 重心・剛心位置の作図



重心・剛心の作図例

■ 要素の削除

削除データの階を指示 ⇒ 領域を指示 ⇒ 耐力要素番号を選択 ⇒ 要素削除を指示

The screenshot shows the '無開口耐力壁' (Non-opening strength wall) software interface. The '要素の削除' (Delete Element) button is highlighted with a red box. Other buttons like '要素の削除' and '平面図を削除' are also visible.

■ 図の削除・再表示

■ 図を削除する

The screenshot shows the software interface with the '平面図の削除' (Delete Plan View) button highlighted with a red box.

■ 図を再表示する

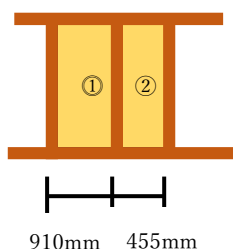
The screenshot shows the software interface with the '平面図を確認' (Confirm Plan View) button highlighted with a red box.

■ ワークシートへの書き込みデータの確認

The screenshot shows the software interface with the '確認' (Confirm) button highlighted with a red box.

積雪有、積雪無を選択後、**確認**を指示

■ 連続した無開口壁（連続している 60cm 未満の面材耐力壁）



600mm 未満の連続した面材壁の例

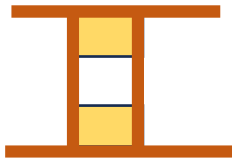
柱A 通り <input type="text"/> 通り + <input type="text"/> m 軸 <input type="text"/> 通り + <input type="text"/> m <input type="checkbox"/> 柱Aなし <input type="checkbox"/> 筋かい柱頭 <input type="checkbox"/> 通し柱	柱B 通り <input type="text"/> 通り + <input type="text"/> m 軸 <input type="text"/> 通り + <input type="text"/> m <input type="checkbox"/> 柱Bなし <input type="checkbox"/> 筋かい柱頭 <input type="checkbox"/> 通し柱	<input type="checkbox"/> 連続した開口壁 <input type="checkbox"/> 連続した無開口壁 <input type="checkbox"/> 評価できない開口壁 <input checked="" type="checkbox"/> 天井までの耐力壁
---	---	---

連続した無開口壁をチェックし、①の壁、②の壁のデータを入力する。

- 評価できない開口壁（隣に耐力壁のない開口壁、図面に作図したい場合）

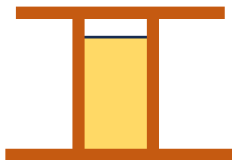
柱A 通り <input type="text"/> 通り + <input type="text"/> m 軸 <input type="text"/> 通り + <input type="text"/> m <input type="checkbox"/> 柱Aなし <input type="checkbox"/> 筋かい柱頭 <input type="checkbox"/> 通し柱	柱B 通り <input type="text"/> 通り + <input type="text"/> m 軸 <input type="text"/> 通り + <input type="text"/> m <input type="checkbox"/> 柱Bなし <input type="checkbox"/> 筋かい柱頭 <input type="checkbox"/> 通し柱	<input type="checkbox"/> 連続した開口壁 <input type="checkbox"/> 連続した無開口壁 <input checked="" type="checkbox"/> 評価できない開口壁 <input type="checkbox"/> 天井までの耐力壁
---	---	---

評価できない開口壁にチェックを入れる。



- 天井までの耐力壁（軸組図作図において必要）

柱A 通り <input type="text"/> 通り + <input type="text"/> m 軸 <input type="text"/> 通り + <input type="text"/> m <input type="checkbox"/> 柱Aなし <input type="checkbox"/> 筋かい柱頭 <input type="checkbox"/> 通し柱	柱B 通り <input type="text"/> 通り + <input type="text"/> m 軸 <input type="text"/> 通り + <input type="text"/> m <input type="checkbox"/> 柱Bなし <input type="checkbox"/> 筋かい柱頭 <input type="checkbox"/> 通し柱	<input type="checkbox"/> 連続した開口壁 <input type="checkbox"/> 連続した無開口壁 <input type="checkbox"/> 評価できない開口壁 <input checked="" type="checkbox"/> 天井までの耐力壁
---	---	---



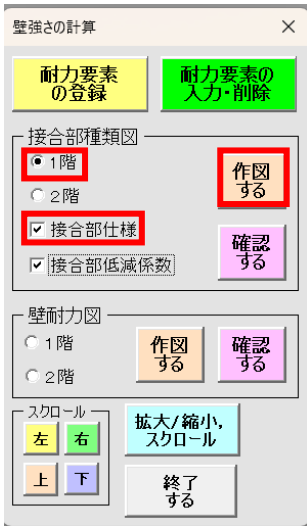
天井までの耐力壁にチェックを入れる。

- データの入力を終了する

既存データ表示	要素の削除
平面図の削除	平面図を確認
入力の一時的中止	入力を終了

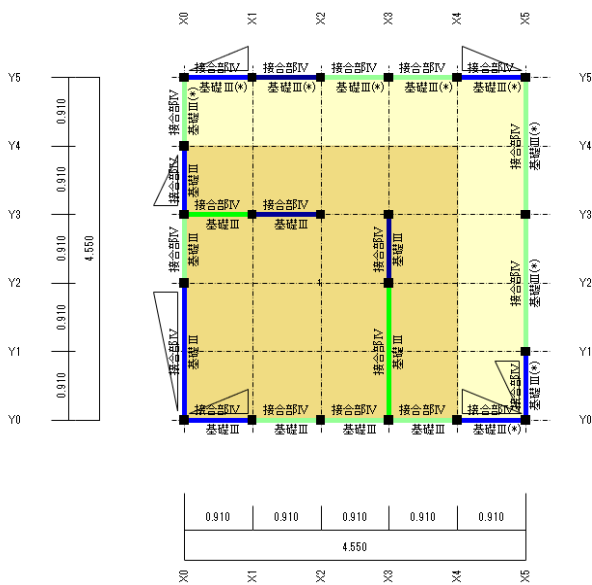
3.6 接合部の種類および接合部の低減係数の作図

■ 作図する

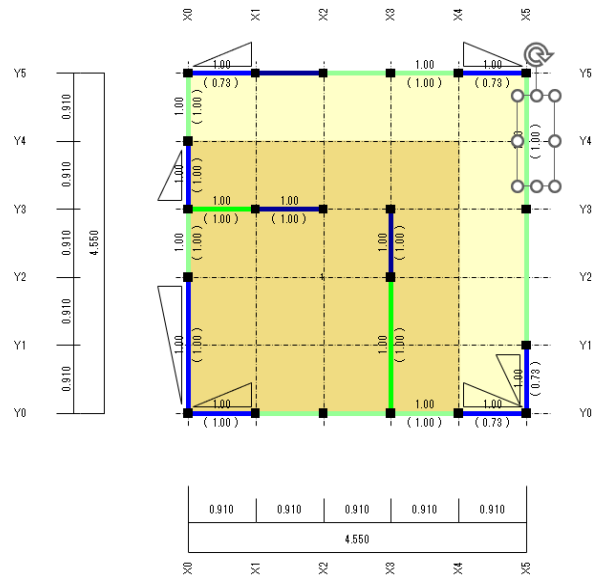


■ 入力・選択事項 階

作図例

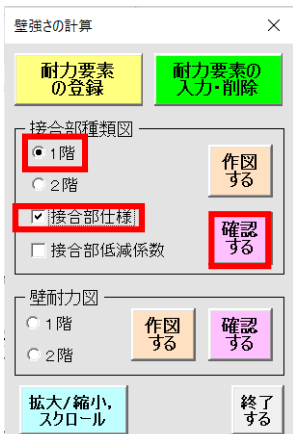


接合部の仕様



接合部低減係数
(上段が積雪時, 下段のカッコ内が無積雪時)

■ 図の確認



■ 入力・選択事項 階, 図の種類

3.7 耐力図の作図

① 作図する

壁強さの計算

耐力要素の登録
耐力要素の入力・削除

接合部種類図

1階

2階

接合部仕様

接合部低減係数

作図する
確認する

壁耐力図

1階

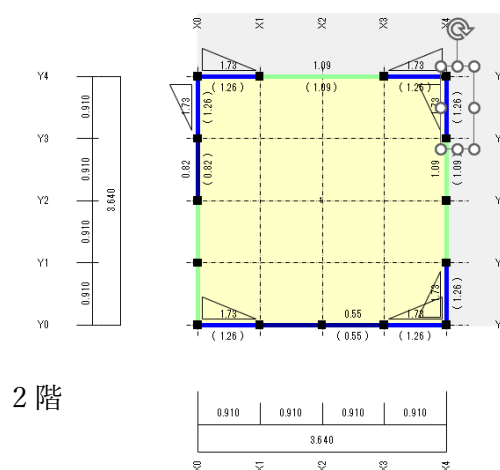
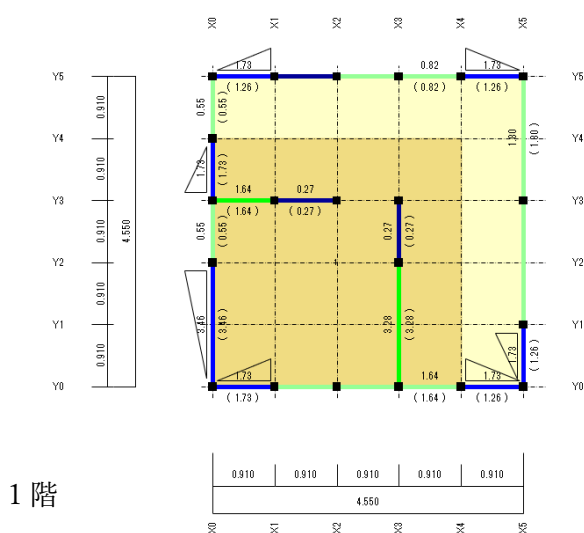
2階

作図する
確認する

拡大/縮小,
スクロール
終了する

- 入力・選択事項
階

作図例（上段が積雪時、下段が無積雪時の耐力）



② 図の確認

壁強さの計算

耐力要素の登録
耐力要素の入力・削除

接合部種類図

1階

2階

接合部仕様

接合部低減係数

作図する
確認する

壁耐力図

1階

2階

作図する
確認する

拡大/縮小,
スクロール
終了する

- 入力・選択事項
階

3.8 劣化低減係数の入力

耐震診断計算メニュー

- 建物概要・基本事項の入力
- 基準軸座標の入力
- 床平面図の作成
- 上部構造の診断
 - 壁・柱耐力の入力
- 劣化低減係数入力
 - 現地調査表より読み込み
 - 直接入力**
- 上部構造の評点計算

拡大/縮小、スクロール | 入力終了

■ 建築年代の入力

劣化による低減係数

- 建築年代**
- 外部の劣化
- バルコニーの劣化
- 内部の劣化
- 低減係数の計算

改修時に、仕上げ材をはがして骨組みのみとして劣化部分をすべて取り換える。

拡大/縮小、スクロール | 入力終了

UserForm1

建築年代

築10年未満 **築10年以上**

(注) 築10年未満の物件において、調査対象項目であるなしに関わらず、いずれかの部位において劣化事象が認められた場合には、築10年以上を使用し、10年以上の物件に対応する、存在点数および劣化点数によって、劣化度による低減係数を求めて下さい。

データ表示 | **データ入力** | 入力終了

■ 外部の劣化入力

劣化による低減係数

- 建築年代
- 外部の劣化**
- バルコニーの劣化
- 内部の劣化
- 低減係数の計算

改修時に、仕上げ材をはがして骨組みのみとして劣化部分をすべて取り換える。

拡大/縮小、スクロール | 入力終了

外部の劣化 (屋根、樋外壁等)

屋根葺き材

- 存在する
 - 劣化現象
 - 金属板で変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある
 - 瓦・スレート材で割れ、欠け、ずれ、欠落がある
 - 劣化事象に該当しない
- 存在しない

種

- 存在する 存在しない
 - 劣化現象(軒・呼び棟)
 - 変退色、さび、さび穴、ずれ、欠落がある
 - 劣化事象に該当しない
 - 劣化現象(縮れ)
 - 変退色、さび、さび穴、ずれ、欠落がある
 - 劣化事象に該当しない
- 存在しない

外壁仕上げ材

- 存在する
 - 劣化現象
 - 木製板、合板で水浸み痕、こけ、割れ、抜け、ずれ、腐朽がある
 - 窯業系サイディング材でこけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある
 - 金属サイディング材で変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある
 - モルタルでこけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある
 - 劣化事象に該当しない
- 存在しない

露出した躯体

- 露出した躯体あり 露出した躯体なし
 - 露出した躯体の劣化現象
 - 水浸み痕、こけ、腐朽、蟻食、騒音がある
 - 劣化事象に該当しない
- 露出した躯体なし

拡大/縮小、スクロール | データ表示 | **データ入力** | 入力終了

■ バルコニーの劣化入力

劣化による低減係数

- 建築年代
- 外部の劣化
- バルコニーの劣化
- 内部の劣化**
- 低減係数の計算

改修時に、仕上げ材をはがして骨組みのみとして劣化部分をすべて取り換える。

拡大/縮小、スクロール | 入力終了

バルコニーの劣化

バルコニーあり **バルコニーなし**

劣化現象(手すり壁の材料)

- 木製板、合板で水浸み痕、こけ、割れ、抜け、ずれ、腐朽がある
- 金属サイディング材で変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある
- 窯業系サイディング材でこけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある
- 劣化事象に該当しない

劣化現象(手すり壁・外壁との接合部)

- 亀裂、隙間、蟻み、シール切れ・剥離がある
- 劣化事象に該当しない

劣化現象(床排水)

- 壁面を伝わって流れている、また、排水の仕組みがない
- 劣化事象に該当しない

拡大/縮小、スクロール | データ表示 | **データ入力** | 入力終了

■ 内部の劣化入力

劣化による低減係数

建築年代

外部の劣化

バルコニーの劣化

内部の劣化

低減係数の計算

改修時に、仕上げ材をはがして骨組みのみとして劣化部分をすべて取り換える。

拡大/縮小、スクロール

入力終了

内部の劣化

内壁(一般室)

存在する

劣化現象

水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある
 劣化事象に該当しない

内壁(浴室)

存在する 存在しない

劣化現象(浴室)

タイル壁に目地の亀裂、タイルの割れがある
 タイル以外に水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある
 劣化事象に該当しない

一般室の床面

存在する

劣化現象

傾斜、過度の振動、床鳴りがする
 劣化事象に該当しない

廊下の床面

存在する 存在しない

劣化現象

傾斜、過度の振動、床鳴りがする
 劣化事象に該当しない

床下

存在する

劣化現象

基礎のひび割れや床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある
 劣化事象に該当しない

拡大/縮小、スクロール

データ表示

データ入力

入力終了

■ 低減係数の計算

劣化による低減係数

建築年代

外部の劣化

バルコニーの劣化

内部の劣化

低減係数の計算

改修時に、仕上げ材をはがして骨組みのみとして劣化部分をすべて取り換える。

拡大/縮小、スクロール

入力終了

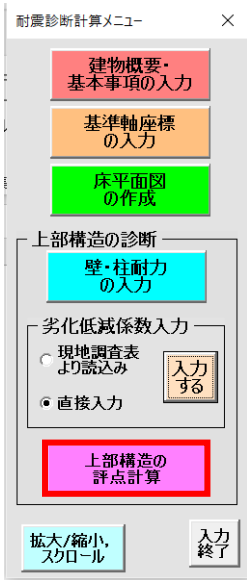
低減係数の計算例

床	部位	傾斜、過度の振動、床鳴りがある		1	
	床下	基礎のひび割れや床下部材の腐朽、蟻道、蟻害がある		○	2
合計				21	6

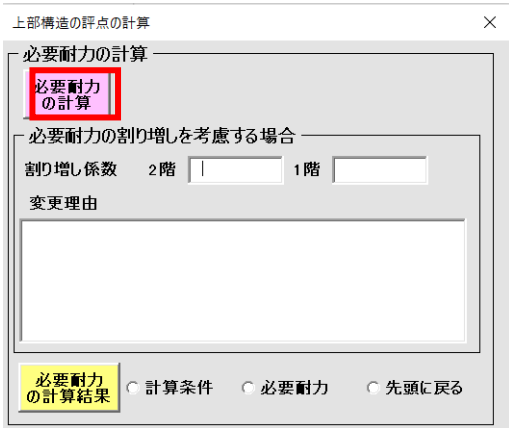
$$\text{劣化度による低減係数 (D)} = 1 - \frac{\text{劣化点数}}{\text{存在点数}} = 1 - \frac{6}{21} = 0.71 \Rightarrow 0.71$$

下限値は 0.7

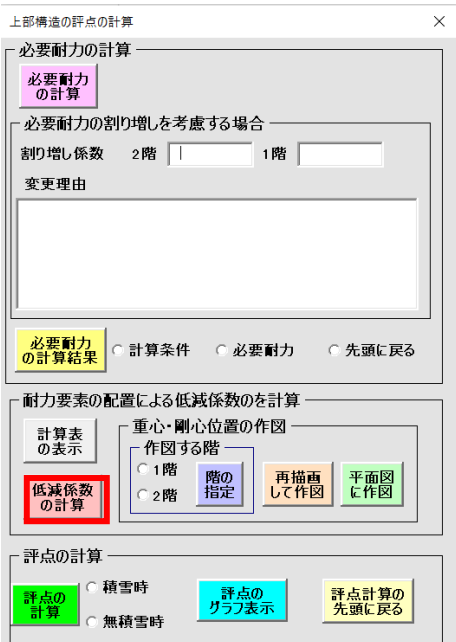
3.9 必要耐力の計算・配置による低減係数の計算・評点の計算



■ 必要耐力の計算



■ 配置による低減係数の計算



出力例

床の様 様 : 仕様Ⅱ
火打ち+荒板(4m以上の吹抜けなし)

積雪時 積雪量 : 1.00 (m)

		必要耐力 (kN)	保有する耐力 (kN)	充足率	配置による低減係数	
2階	X	側端部分A	2.356	3.458	1.468	1.000
		側端部分B	2.356	3.458	1.468	
	Y	側端部分A	2.356	1.729	0.734	0.800
		側端部分B	2.356	3.458	1.468	
1階	X	側端部分A	6.149	3.458	0.562	0.900
		側端部分B	6.149	3.458	0.562	
	Y	側端部分A	6.149	5.187	0.844	0.600
		側端部分B	6.149	1.729	0.281	

無積雪時

		必要耐力 (kN)	保有する耐力 (kN)	充足率	配置による低減係数	
2階	X	側端部分A	1.580	2.524	1.598	1.000
		側端部分B	1.580	2.524	1.598	
	Y	側端部分A	1.580	1.262	0.799	0.800
		側端部分B	1.580	2.524	1.598	
1階	X	側端部分A	4.938	2.524	0.511	0.889
		側端部分B	4.938	2.991	0.606	
	Y	側端部分A	4.938	5.187	1.051	0.580
		側端部分B	4.938	1.262	0.256	

■ 評点の計算

上部構造の評点の計算

必要耐力の計算

必要耐力の計算

必要耐力の割り増しを考慮する場合

割り増し係数 2階 | 1階 |

変更理由

必要耐力の計算結果 計算条件 必要耐力 先頭に戻る

耐力要素の配置による低減係数の計算

計算表の表示

低減係数の計算

重心・剛心位置の作図

作図する階

1階 階の指定

評点の計算

積雪時 無積雪時

評点の計算

■ 計算結果の出力例

建物の階数： 木造2階建て 建物の仕様： 重い建物

建物の種類： 専用住宅：（1、2階ともに住宅部分である。）

積雪時

積雪量： 1.00 (m)

階	方向	壁・柱の耐力 $Q_{ca}(kN)$	配置低減係数 μ_{ca}	劣化低減係数 μ_K	保有耐力 $Q_{ca}(kN)$	必要耐力 $Q_{ca}(kN)$	上部構造の評点	判定
2階	X	8.554	1.000	0.71	6.110	9.421	0.64	倒壊する可能性が高い
	Y	7.098	0.800	0.71	4.056	9.421	0.43	倒壊する可能性が高い
1階	X	11.284	0.900	0.71	7.254	24.595	0.29	倒壊する可能性が高い
	Y	13.357	0.600	0.71	5.724	24.595	0.23	倒壊する可能性が高い

無積雪時

階	方向	壁・柱の耐力 $Q_{ca}(kN)$	配置低減係数 μ_{ca}	劣化低減係数 μ_K	保有耐力 $Q_{ca}(kN)$	必要耐力 $Q_{ca}(kN)$	上部構造の評点	判定
2階	X	6.687	1.000	0.71	4.776	6.321	0.75	倒壊する可能性がある
	Y	5.698	0.800	0.71	3.256	6.321	0.51	倒壊する可能性が高い
1階	X	9.884	0.869	0.71	6.135	19.751	0.31	倒壊する可能性が高い
	Y	12.890	0.560	0.71	5.156	19.751	0.26	倒壊する可能性が高い

■ 結果をグラフ表示する

上部構造の評点の計算

必要耐力の計算

必要耐力の計算

必要耐力の割り増しを考慮する場合

割り増し係数 2階 | 1階 |

変更理由

必要耐力の計算結果 計算条件 必要耐力 先頭に戻る

耐力要素の配置による低減係数の計算

計算表の表示

低減係数の計算

重心・剛心位置の作図

作図する階

1階 階の指定

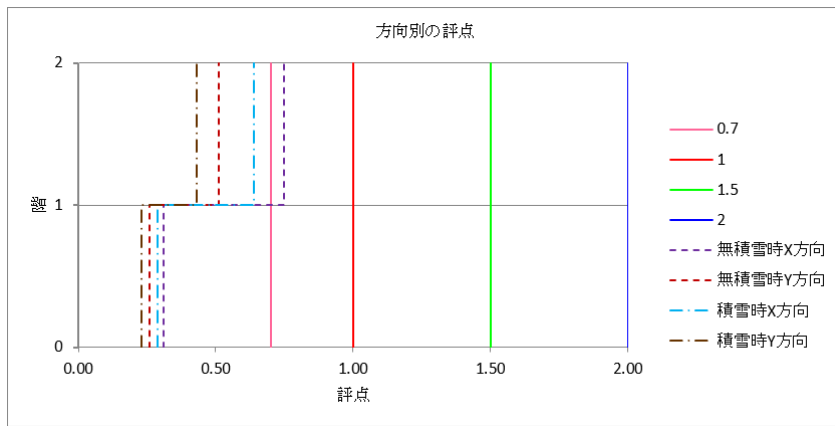
評点の計算

積雪時 無積雪時

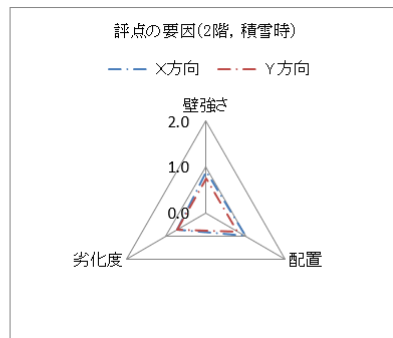
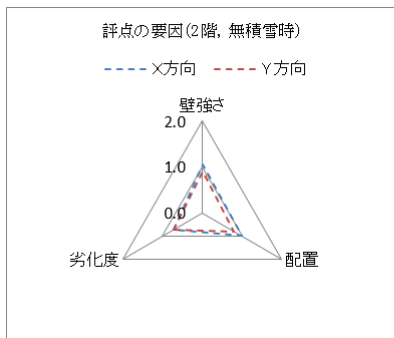
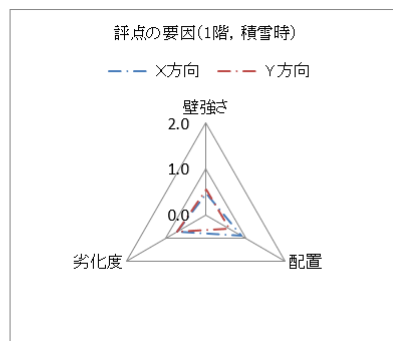
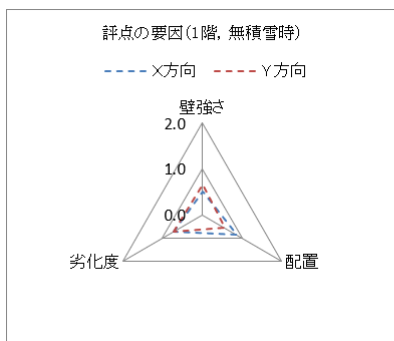
評点の計算

出力例

評点の表示



各項目ごとの評点の表示



4. 現地調査結果の入力

計算書作成項目

初期化する

初期データの入力

- 現地調査表より読み込み 入力する
- 直接入力 入力する

現地調査結果の入力

- 現地調査表より読み込み 入力する
- 直接入力** 入力する

地盤・地形・基礎の入力

- 現地調査表より読み込み 入力する
- 直接入力 入力する

既存データの読み込み

- Ver2 Ver3
- 建物等 耐力要素 平面図 全データ
- 診断結果等 作図 伏図

耐震診断計算

耐震診断計算

報告書等

診断結果 報告書の作成 報告書の印刷

作図

伏図の作図 軸組図の作図 金物図の作図

耐震補強

2階建てを平屋に減築 補強概要

行の表示

拡大/縮小、スクロール

終了

◎ 部分欠陥 1 の入力

現地調査結果

部分欠陥1 | 部分欠陥2 | 部分欠陥3 | 部分欠陥4 | 非構造部材1

建物周囲の地盤条件(擁壁等の傾斜、き裂等の有無)

調査実施/不可 調査実施 特になし

構造耐力上主要な軸組等(部材の断面欠損: 大きな欠き込み、割れの有無)

柱(谷) 調査実施/不可 調査実施 特になし

柱(梁) 調査実施/不可 調査実施 特になし

梁・桁 調査実施/不可 調査実施 特になし

筋かい等 調査実施/不可 調査実施 特になし

拡大/縮小、スクロール

新規入力

データ表示

入力変更

入力終了

■ 入力事項

- 調査の有無
- 調査結果のコメント

◎ 部分欠陥 2 の入力

現地調査結果

部分欠陥1 | **部分欠陥2** | 部分欠陥3 | 部分欠陥4 | 非構造部材1

構造耐力上主要な軸組等(接合金物: 有無、ゆるみ、錆、腐食等)

柱と柱 調査実施/不可 調査実施 特になし

柱と梁桁 調査実施/不可 調査実施 特になし

筋かい(柱) 調査実施/不可 調査実施 特になし

床下部分(接合方法: 足固め、根がらみ等で固められているか)

調査実施/不可 調査実施 特になし

梁と柱、差し鴨居(接合方法: 柱から抜け落ちる形式ではないか)

調査実施/不可 調査実施 特になし

筋かい端部(接合方法: 引張り・圧縮に対して抜けたり踏み外さないか)

調査実施/不可 調査実施 特になし

拡大/縮小、スクロール

新規入力

データ表示

入力変更

入力終了

◎ 部分欠陥 3 の入力

現地調査結果

部分欠陥1 | 部分欠陥2 | **部分欠陥3** | 部分欠陥4 | 非構造部材1

水平剛性の確保

②継床面(火打ちの有無、床板は合板か)

調査実施/不可 調査実施 火打ちなし

(金物は充分使用されているか)

調査実施/不可 調査実施 特になし

①屋梁面(火打ちの有無、野地板は合板か)

調査実施/不可 調査実施 火打ちなし

(金物は充分使用されているか)

調査実施/不可 調査実施 特になし

既抜け部分(吹抜け面積の大きさ)

調査実施/不可 調査実施 階段室部分

(吹抜け部分の対策、補強の有無)

調査実施/不可 調査実施 特になし

拡大/縮小、スクロール

新規入力

データ表示

入力変更

入力終了

① 部分欠陥 4 の入力

現地調査結果

部分欠陥1 | 部分欠陥2 | 部分欠陥3 | **部分欠陥4** | 非構造部材1

下屋、増築部

(下屋、増築部分の有無)
調査実施/不可
調査実施

コメント 特になし

(母屋との接合部分について金物が充分使用されているか)
調査実施/不可
調査実施

コメント 特になし

拡大/縮小、スクロール

新規入力 データ表示 **入力変更** 入力終了

② 非構造部材の入力

現地調査結果

部分欠陥1 | 部分欠陥2 | 部分欠陥3 | 部分欠陥4 | **非構造部材1**

開口部 引き違い窓(戸)、観音開き窓(戸)
コメント **特になし**

はめ殺し窓(1枚でもあれば)
コメント

屋根葺き材 鉄板、石綿スレート瓦など軽いもの
コメント

和瓦、セメント瓦など重いもの
コメント **瓦に割れあり**

外装仕上材 サイディングボード、下見板など
コメント

タイル、レンガ、モルタル仕上げ、土塗り壁
コメント **特になし**

内装仕上材 ボード類
コメント **特になし**

土塗り壁、プラスチック仕上げ
コメント

建築設備等 空調設備機器、キュービクル等
コメント **特になし**

拡大/縮小、スクロール

新規入力 データ表示 **入力変更** 入力終了

5. 地盤・地形・基礎の入力

計算書作成項目

初期化する

初期データの入力
 現地調査表より読み込み
 直接入力

現地調査結果の入力
 現地調査表より読み込み
 直接入力

地盤・地形・基礎の入力
 現地調査表より読み込み
 直接入力

既存データの読み込み
 Ver2 Ver3

建物等 耐力要素 平面図 全データ
 診断結果等 作図 伏図

耐震診断計算

報告書等

作図

耐震補強

行の表示

地盤・地形・基礎

(1) 地盤
 地盤の種類: 普通の地盤
 根拠となった資料
 地盤分類図 ボーリング柱状図 現地調査 その他

注意事項
 特になし

(2) 地形
 地形の種類: 平坦地
 根拠となった資料
 設計図 現地調査 その他

注意事項
 特になし

(3) 基礎
 基礎の種類: 無筋コンクリート造基礎(ひび割れが生じている)
 根拠となった資料
 設計図・申請図書 現地調査 聞き取り調査 その他

注意事項
 特になし

■ 入力事項

基礎・地盤・地形に対する注意事項の入力

根拠となった資料

6. 耐震診断結果の入力

計算書作成項目

初期化する

初期データの入力

現地調査表より読み込み

直接入力

耐震診断計算

報告書等

作図

現地調査結果の入力

現地調査表より読み込み

直接入力

耐震補強

地盤・地形・基礎の入力

現地調査表より読み込み

直接入力

既存データの読み込み

Ver2 Ver3

平面図

伏図

耐震診断結果 (現況)

【その他の注意事項】

特になし

【耐震診断結果】

1階はX・Y方向ともに倒壊する可能性が高い、2階は倒壊する可能性があるとの結果になりました。主な要因は壁量の不足です。

- 入力事項
- ・ その他の注意事項
- ・ 耐震診断結果の入力

7. 報告書の入力

■ 依頼年月日、所在地等の入力

入力・選択事項

依頼年月日

■ 総合所見の入力

報告書作成

令和 6 年 3 月 6 日 に依頼を受けた建物
(所在地: 新潟市○○区○○町1-1-1)

について診断した結果を、下記のとおりご報告いたします。なお、この報告書は調査時点での診断結果ですので、その後の経年劣化等に対しては十分な維持管理をお願いします。

所在地等の入力

【総合所見】

倒壊の高い結果となりました。主な原因は以下の通りです。
① 壁量が不足しています。
② 壁の配置が偏っています
③ 建物の劣化がすすんでいます。
耐力壁をバランスよく増設することをお薦めします。

拡大/縮小、スクロール データ表示 入力更新 入力終了

入力・選択事項

総合所見

8. 印刷・プレビューする

計算書作成項目

初期化する

初期データの入力

- 現地調査表より読み込み
- 直接入力

現地調査結果の入力

- 現地調査表より読み込み
- 直接入力

地盤・地形・基礎の入力

- 現地調査表より読み込み
- 直接入力

既存データの読み込み

- Ver2 Ver3
- 建物等 耐力要素 平面図 伏図
- 診断結果等 作図
- 全データ

耐震診断計算

耐震診断計算

報告書等

- 診断結果
- 報告書の作成
- 報告書の印刷

作図

- 伏図の作図
- 軸組図の作図
- 金物図の作図

耐震補強

- 2階建てを平屋に減築
- 補強概要

行の表示

拡大/縮小, スクロール

終了

印刷

印刷項目

報告年月日

令和 4 年 3 月 17 日

報告書の印刷

- 判定会提出用 依頼者提出用
- プレビューする 印刷する

伏図の印刷

- プレビューする 印刷する

軸組図の印刷

- プレビューする 印刷する

金物図の印刷

- プレビューする 印刷する

行表示

入力終了

- 入力・選択事項
 - ・ 判定会提出用か、依頼者提出用か
 - ・ プレビュー表示か、印刷か

- 判定会提出の場合は判定会提出用を指示
- 依頼者に提出の場合は依頼者提出用を指示
- プレビューする場合はプレビューするを指示
- 印刷する場合は印刷するを指示
-

9. 終了する

計算書作成項目

初期化する

初期データの入力

現地調査表より読み込み

直接入力

現地調査結果の入力

現地調査表より読み込み

直接入力

地盤・地形・基礎の入力

現地調査表より読み込み

直接入力

既存データの読み込み

Ver2 Ver3

平面図

伏図

耐震診断計算

報告書等

作図

耐震補強

⇒

ファイルの保存

下記のいずれかを指示する

- 上書き保存する
上書き保存後、終了
- 名前を付けて保存、終了する
名前を付けて保存後、終了
- 保存しないで終了する
保存しない
- キャンセルする
終了しないで、入力を継続する

10. その他

■ 拡大/縮小, スクロール機能

拡大/縮小、スクロール

指定の値でワークシートの拡大、または、縮小する。

指定の値で図を拡大、または、縮小する。31 で、ほぼ 1/100

ワークシートの行を指定の値に移動する。

ワークシートの行を表示する。

ワークシートの行を非表示する。

指定の値で行、または、列をスクロールする。

拡大・縮小およびスクロール

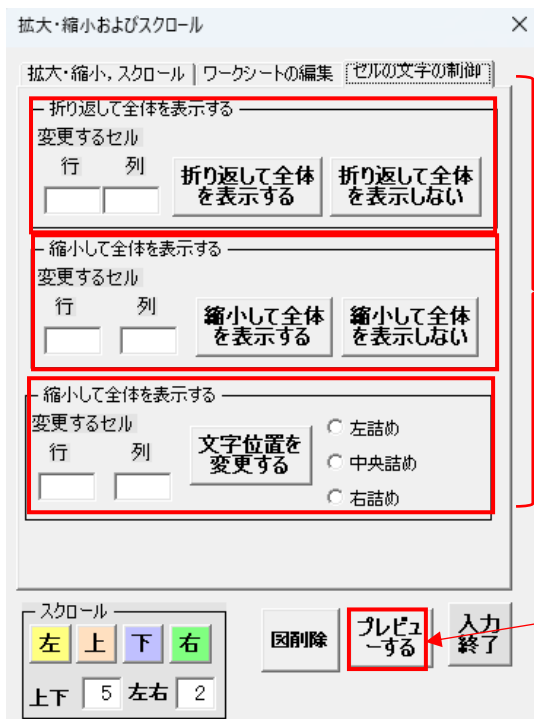
指定の行の高さを変更する。

指定の列の幅を変更する。

改ページを削除する。

指定した行に改ページを追加する。

指定した行にワークシート固定する。



文字列等の変更

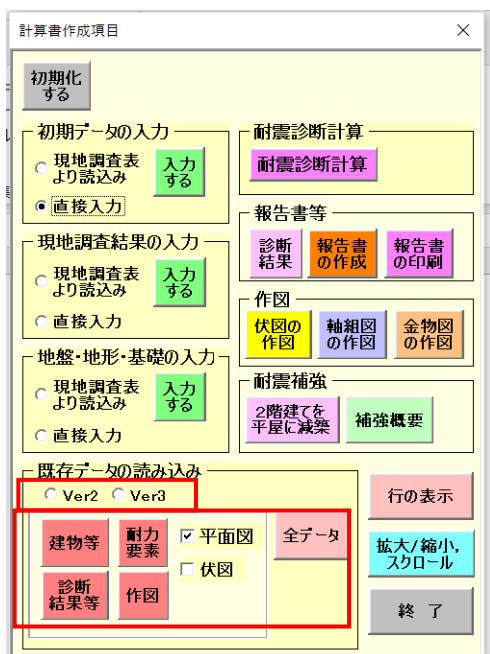
作業中のワークシートをプレビューする。

■ 作業の途中でフォームが消えた場合

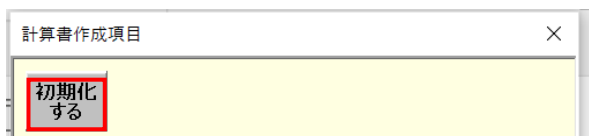
耐震診断開始に戻り、再度、パスワードおよび名前を入力し、中断したフォームより作業を再開する。

■ 既存データの読み込み

Version を選択後、読込内容を指示。その後、表示された読込ファイルを選択する。



■ 全データを消去する



11. 補強設計

11.1 フォーム「計算書作詞項目」を表示

計算書作成項目

初期化する

初期データの入力

現地調査表より読み込み

直接入力

現地調査結果の入力

現地調査表より読み込み

直接入力

地盤・地形・基礎の入力

現地調査表より読み込み

直接入力

既存データの読み込み

Ver2 Ver3

建物等 耐力要素 平面図 全データ

診断結果等 作図 伏図

行の表示

拡大/縮小, スクロール

終了

耐震診断計算

耐震診断計算

報告書等

診断結果 報告書の作成 報告書の印刷

作図

伏図の作図 軸組図の作図 金物図の作図

耐震補強

2階建てを平屋に減築 補強概要

初期データ新規入力

地区 新潟市 受付番号 10 診断内容 現況診断 補強後診断

受託者名

団体名 (公社)新潟県建築士会 代表者役職 会長 氏名 田中 隆司

判定会

名称 (公社)新潟県建築士会 登録済み

依頼者

氏名 〇〇 〇〇 住所 新潟市〇〇区〇〇町1-1-1

建物の名称等

建物名称 〇〇邸 所在地 新潟市〇〇区〇〇町1-1-1

建物の種類

平屋建ての建

専用住宅

事務所

店舗

集会場(固定席)

集会場(その他)

2階建ての建

専用住宅

併用住宅[2階が住宅部分である]

事務所[2階に事務所部分がある]

店舗[2階に店舗がある]

集会場(固定席)[2階に固定席の集会場がある]

集会場(その他)[2階にその他の集会場がある]

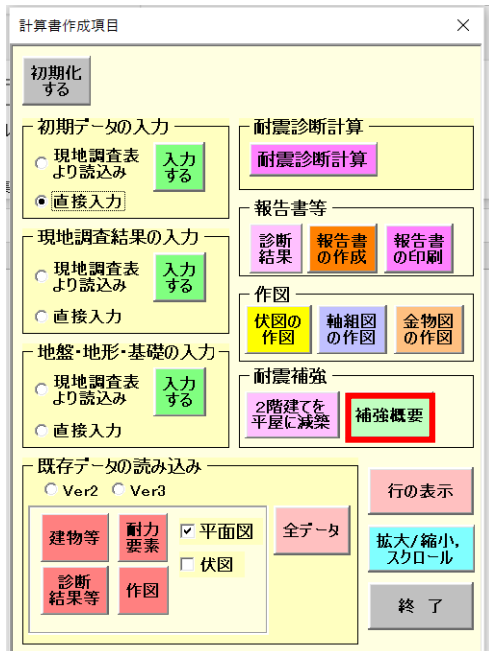
耐震診断者1 登録番号の変更 登録番号を変更する

耐震診断者2

氏名 番号

拡大/縮小, スクロール

新規入力 データ表示 入力・修正 入力終了



■ 診断結果の読み込み



■ 補強内容の入力

補強概要

耐震診断結果

耐震診断結果の読込

Ver2 Ver3

現診断結果の読み込み 既存ファイルの読み込み

耐震診断結果の読込

耐震診断結果の表示

耐震補強概要

補強概要
基礎・土台の補強

耐力壁の補強

水平構面補強
劣化に対する補強

その他の補強

補強結果

補強結果表 補強結果グラフ

補強結果

拡大/縮小,
スクロール

入力終了

補強方針/基礎・土台の補強

補強方針

基礎関係

補強箇所 箇所

補強内容

土台

補強箇所 箇所

補強内

拡大/縮小,
スクロール

データ表示

入力変更

入力終了

補強概要

耐震診断結果

耐震診断結果の読込

Ver2 Ver3

現診断結果の読み込み 既存ファイルの読み込み

耐震診断結果の読込

耐震診断結果の表示

耐震補強概要

補強概要
基礎・土台の補強

耐力壁の補強

水平構面補強
劣化に対する補強

その他の補強

補強結果

補強結果表 補強結果グラフ

補強結果

拡大/縮小,
スクロール

入力終了

耐力壁

耐力壁

1階

補強箇所 箇所

補強内容

2階

補強箇所 箇所

補強内容

接合部分(耐力壁周り)

1階

補強箇所 箇所

補強内

2階

補強箇所 箇所

補強内容

拡大/縮小,
スクロール

データ表示

入力変更

入力終了

補強概要

耐震診断結果

耐震診断結果の読込

Ver2 Ver3

現診断結果の読み込み

既存ファイルの読み込み

耐震診断結果の読込

耐震診断結果の表示

耐震補強概要

補強概要
基礎・土台の補強

耐力壁の補強

水平構面補強劣化に対する補強

その他の補強

補強結果

補強結果表

補強結果グラフ

補強結果

拡大/縮小、スクロール

入力終了

水平構面／老朽・腐朽

2階床構面

補強箇所 | 箇所

補強内容

1階床

補強箇所 | 箇所

補強内容

1層

補強箇所 | 箇所

補強内容

老朽・腐朽

補強箇所 | 箇所

補強内容

拡大/縮小、スクロール

データ表示

入力・変更

入力終了

補強概要

耐震診断結果

耐震診断結果の読込

Ver2 Ver3

現診断結果の読み込み

既存ファイルの読み込み

耐震診断結果の読込

耐震診断結果の表示

耐震補強概要

補強概要
基礎・土台の補強

耐力壁の補強

水平構面補強劣化に対する補強

その他の補強

補強結果

補強結果表

補強結果グラフ

補強結果

拡大/縮小、スクロール

入力終了

その他

接合部分(耐力壁周り以外)

1階

補強箇所 | 箇所

補強内容

2階

補強箇所 | 箇所

補強内容

その他

補強箇所 | 箇所

補強内容

拡大/縮小、スクロール

データ表示

入力・変更

入力終了

■ 補強結果の表示

無開口耐力壁

A. 耐力要素の階数

2階
 2階
 平屋
 1階
 RC造


B. 耐力要素の方向・位置

XA
 XC
 XB
 YA
 YC
 YB

入力データ

耐力要素番号 仕様番号

H2 m



H1 m

仕様

① 外壁または内壁1の工法 基準耐力 kN/m

② 軸組みの工法 kN/m

③ 内壁2の工法 kN/m

計 kN/m

柱A

通り m
 軸 m
 柱Aなし 筋かい柱頭 通し柱

柱B

通り m
 軸 m
 柱Bなし 筋かい柱頭 通し柱

連続した開口壁 連続した無開口壁
 評価できない開口壁 天井までの耐力壁

基礎仕様

基礎Ⅰ
 基礎Ⅱ
 基礎Ⅲ

接合部仕様

接合部Ⅰ 接合部Ⅱ
 接合部Ⅲ 接合部Ⅳ

データの入力

新規入力 データ修正

柱頭・柱脚接合部の変更

通りごとの変更 全体の変更

X Y

補強部材

重心・剛心位置

現計算の位置のみ

スクロール

補強結果

診断結果

積雪時

評点
 2階
 X方向
 Y方向

1階
 X方向
 Y方向

偏心率

2階
 X方向
 Y方向

1階
 X方向
 Y方向

無積雪時

評点
 2階
 X方向
 Y方向

1階
 X方向
 Y方向

不足耐力

積雪時

2階	X方向	-	=	(kN)
	Y方向	-	=	(kN)
1階	X方向	-	=	(kN)
	Y方向	-	=	(kN)

無積雪時

2階	X方向	-	=	(kN)
	Y方向	-	=	(kN)
1階	X方向	-	=	(kN)
	Y方向	-	=	(kN)

(不足耐力) = (保有する耐力) - (必要耐力)

赤字は不足量を示す。

■ 補強前結果と補強後結果が表示（補強量が不足の場合は赤字で表示）

下図は補強前の結果を表示している。

補強結果

診断結果

積雪時

評点

2階

X方向 0.64 0.64

Y方向 0.43 0.43

1階

X方向 0.29 0.29

Y方向 0.23 0.23

偏心率

2階

X方向 0.048 0.048

Y方向 0.194 0.194

1階

X方向 0.022 0.022

Y方向 0.072 0.072

無積雪時

評点

2階

X方向 0.75 0.75

Y方向 0.51 0.51

1階

X方向 0.31 0.31

Y方向 0.26 0.26

偏心率

2階

X方向 0.061 0.061

Y方向 0.186 0.186

1階

X方向 0.000 0.000

Y方向 0.090 0.090

不足耐力

積雪時

2階

X方向 8.110 - 9.421 = -3.311 (kN)

Y方向 4.056 - 9.421 = -5.365 (kN)

1階

X方向 7.254 - 24.595 = -17.341 (kN)

Y方向 5.724 - 24.595 = -18.871 (kN)

無積雪時

2階

X方向 4.776 - 6.321 = -1.545 (kN)

Y方向 3.256 - 6.321 = -3.065 (kN)

1階

X方向 6.135 - 19.751 = -13.616 (kN)

Y方向 5.156 - 19.751 = -14.595 (kN)

(不足耐力) = (保有する耐力) - (必要耐力)

赤字は不足量を示す。

耐震診断結果および補強結果 終了する

■ 補強部材の耐力

柱頭・柱脚接合部の変更

通りごとの変更

X Y 通り

全体の變更

2階の變更 1階の變更

補強部材 診断結果

積雪量の変更

拡大/縮小 スクロール

上 下 左 右

重心・剛心位置

現計算の位置のみ 作図する

補強部材の基礎仕様・接合部仕様・耐力壁の位置・壁実長を入力後、**耐力の表示**を指示すると補強部材の耐力および接合部低減係数がフォーム上に表示される。

補強部材

補強部材の耐力

基礎仕様

基礎Ⅰ 基礎Ⅱ 基礎Ⅲ

接合部仕様

接合部Ⅰ 接合部Ⅱ 接合部Ⅲ 接合部Ⅳ

位置

平屋建て 2階建ての2階 2階建ての1階

壁実長 0.91 (m)

外壁または内壁1の工法

構造用合板(耐力壁仕様, 直張り)

標準耐力 5.20 kN/m

軸組みの工法

なし

0.00 kN/m

内壁2の工法

なし

0.00 kN/m

計 5.20 kN/m

	耐力	低減係数
積雪時	4.73 (kN)	(1.000)
無積雪時	4.73 (kN)	(1.000)

耐力の表示

補強枚数を指示すると、上記で設定した耐力壁の必要枚数が表示される。

不足耐力			
積雪時			
-2階			
X方向	(kN)	→	(枚)
Y方向	(kN)	→	(枚)
-1階			
X方向	-17.341 (kN)	→	4 (枚)
Y方向	-18.871 (kN)	→	4 (枚)
無積雪時			
-2階			
X方向	(kN)	→	(枚)
Y方向	(kN)	→	(枚)
-1階			
X方向	-13.616 (kN)	→	3 (枚)
Y方向	-14.595 (kN)	→	4 (枚)

■ 積雪量を変更後の再計算

(診断条件等において、積雪量の変更をしておく)

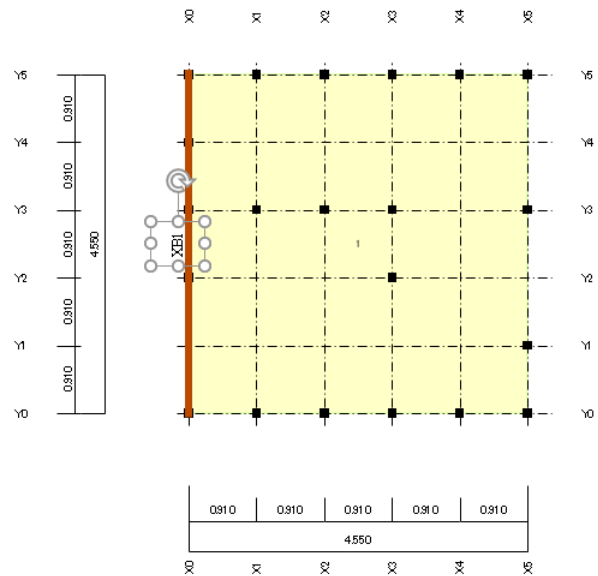
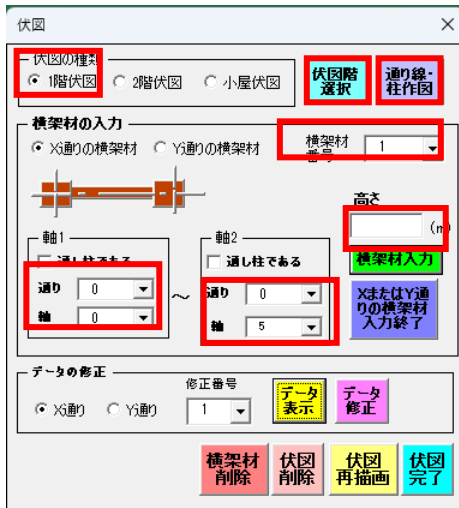
柱頭・柱脚接合部の変更		補強部材		診断結果		重心・剛心位置	
<input type="radio"/> 通りごとの変更 <input type="radio"/> 全体の變更	<input type="checkbox"/> X <input type="checkbox"/> Y	<input type="checkbox"/> 通り <input type="checkbox"/> 通り	<input type="checkbox"/> 通り <input type="checkbox"/> 通り	<input type="checkbox"/> 通り <input type="checkbox"/> 通り	<input type="checkbox"/> 通り <input type="checkbox"/> 通り	<input type="checkbox"/> 通り <input type="checkbox"/> 通り	<input type="checkbox"/> 通り <input type="checkbox"/> 通り
<input type="button" value="2階の変更"/> <input type="button" value="1階の変更"/>		<input type="button" value="補強部材"/> <input type="button" value="診断結果"/>		<input type="button" value="積雪量の変更"/>		<input type="checkbox"/> 現計算の位置のみ <input type="button" value="作図する"/>	
		<input type="button" value="拡大/縮小スクロール"/>		スクロール <input type="button" value="上"/> <input type="button" value="下"/> <input type="button" value="左"/> <input type="button" value="右"/>			

■ 柱頭・柱脚の接合部仕様変更後の再計算

(通りごと変更・通りまたは全体の変更を選択後、1階の変更または2階の変更を指示)

柱頭・柱脚接合部の変更		補強部材		診断結果		重心・剛心位置	
<input type="radio"/> 通りごとの変更 <input type="radio"/> 全体の變更	<input type="checkbox"/> X <input type="checkbox"/> Y	<input type="checkbox"/> 通り <input type="checkbox"/> 通り	<input type="checkbox"/> 通り <input type="checkbox"/> 通り	<input type="checkbox"/> 通り <input type="checkbox"/> 通り	<input type="checkbox"/> 通り <input type="checkbox"/> 通り	<input type="checkbox"/> 通り <input type="checkbox"/> 通り	<input type="checkbox"/> 通り <input type="checkbox"/> 通り
<input type="button" value="2階の変更"/> <input type="button" value="1階の変更"/>		<input type="button" value="補強部材"/> <input type="button" value="診断結果"/>		<input type="button" value="積雪量の変更"/>		<input type="checkbox"/> 現計算の位置のみ <input type="button" value="作図する"/>	
		<input type="button" value="拡大/縮小スクロール"/>		スクロール <input type="button" value="上"/> <input type="button" value="下"/> <input type="button" value="左"/> <input type="button" value="右"/>			

12. 伏図の作図



伏図階の選択

伏図階の指示

通り線・柱作図を指示

横架材の番号

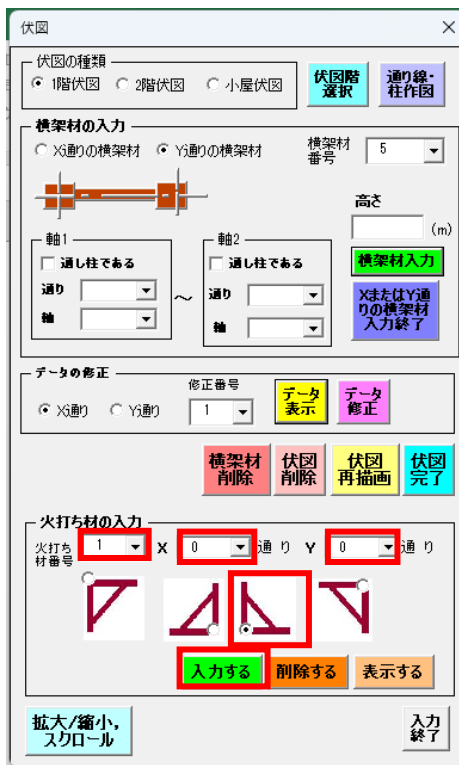
柱1の通りと軸

柱2の通りと軸

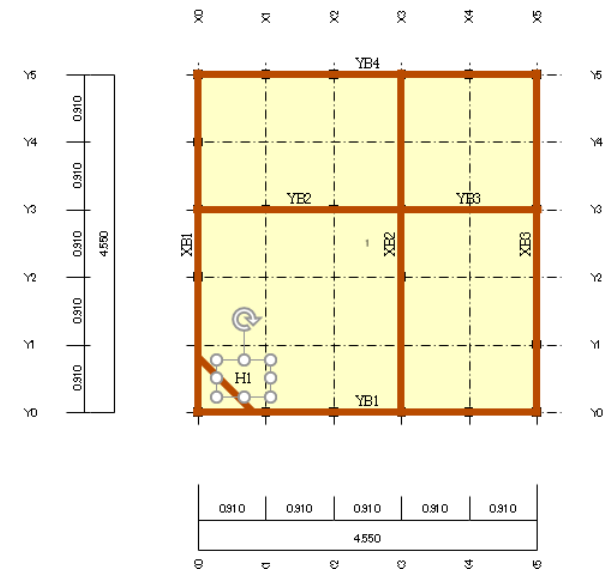
横架材の入力を指示

全データ入力後に、伏図完了を指示

■ 火打ちの入力



火打ち作図例



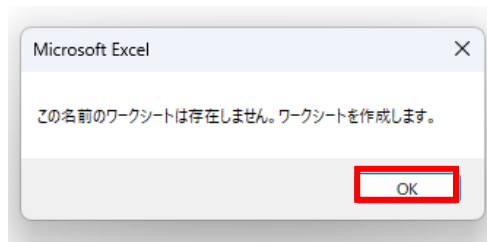
火打ち番号

交点となる X 通りと Y 通り

交点の形状の選択

13. 軸組図の作成

軸組図のワークシート作成

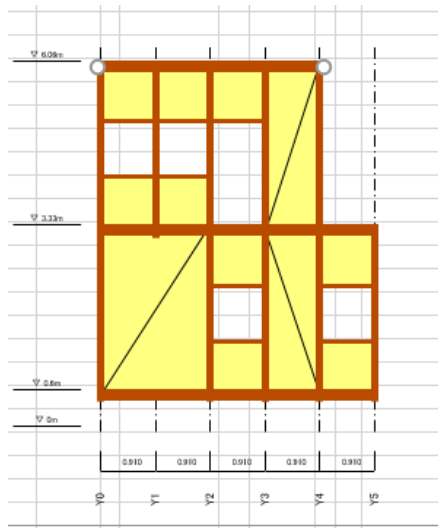


作成する通りの入力

軸組図作成



軸組図作成例



軸組みリストから作図する軸を選択

軸組図作成を指示

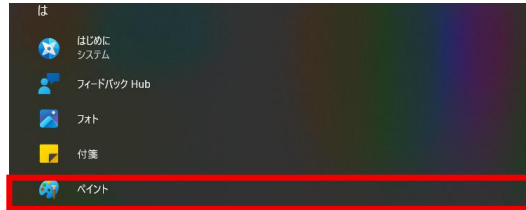
壁線を任意の色で作図

任意の色の追加をチェックする

色名を入力する

色の成分の数値を入力する

成分の数値は、アプリ「ペイント」を開き、



色の編集の数値を参照とする



作成例

耐力要素の仕様番号	5	なし	無開口壁	(既存部材)	0.000		
色番号	-	土塗り壁(塗り厚40mm以上~50mm未満, 横架材まで)			耐震診断基準	2.400	
色	緑1	なし			0.000	2.400	42 186 68

色名

色の成分の数値

索引

初期データの入力	4
(耐震診断計算データの入力)	
建物概要等の入力	5
診断条件等の入力	6
使用履歴の入力	7
地盤・地形の入力	8
設計図書等の入力	8
依頼者の意向の入力	9
(基準軸座標の入力)	
通りの入力	10
4分割線のデータ入力	11
軸を追加する	11
軸を削除する	11
基準寸法が異なる場合の入力	11
跳ね出しバルコニーがある場合	12
(床データの入力)	
床データの入力	13
バルコニーのデータ	15
重心位置の作図	16
床仕様等を選択・入力する	16
通り心が最前面に作図する	16
(耐力要素の仕様の入力)	
耐力壁の入力	17
窓型開口の入力	18
掃出し開口の入力	19
耐震診断基準にない耐力壁の入力 (リストの作成)	19
壁線を任意の色で作図	54
(耐力要素の入力)	
耐力要素の配置	20
筋かい壁の入力	21
単独開口壁の入力	22
連続開口壁の入力	23
掃出し開口、窓型開口が連続する場合の入力	24
データの修正	25
重心・剛心位置の作図	25
要素の削除	26
図の削除・再表示	25
ワークシートへの書き込みデータの確認	26
連続した無開口壁 (耐力壁と連続している 60cm 未満の面材耐力壁)	26
評価できない開口壁 (図面に作図したい場合)	27
天井までの耐力壁 (準耐力壁、軸組図作図において必要)	27

(接合部の種類および接合部の低減係数の作図)		
接合部の種類の作図	28
接合部の低減係数の作図	28
接合部の低減係数の確認	28
(耐力図の作図)		
耐力図の作図	29
耐力図の確認	29
(劣化低減係数の入力)		
建築年代の入力	30
外部の劣化入力	30
バルコニーの劣化入力	30
内部の劣化入力	31
低減係数の計算	31
(必要耐力の計算・配置による低減係数の計算・評点の計算)		
必要耐力の計算	32
配置による低減係数の計算	32
標点の計算	33
評点の結果をグラフ表示	33
(現地調査結果の入力)		
現地調査結果の入力	35
(地盤・地形・基礎の入力)		
地盤の入力	37
地形の入力	37
基礎の入力	37
(耐震診断結果の入力)		
耐震診断結果の入力	38
(報告書の入力)		
所在地等の入力	39
総合所見の入力	40
(印刷・プレビューする)		
印刷する	41
プレビューする	41
(ソフトを終了する)		
終了する	42
(その他)		
拡大/縮小する	43

スクロールする	43
指定の行の高さを変更する	43
ワークシートの行を表示・非表示する	43
指定の行の高さを変更する。	43
指定の行の高さを変更する。	43
改ページを削除	43
指定した行に改ページを追加	43
文字列等の変更	44
作業中のワークシートをプレビュー	44
作業の途中でフォームが消えた場合	44
既存データの読み込み	44
全データを消去(初期化する)	44
 (補強設計)		
補強設計を行う	45
補強概要の入力	45
診断結果の読み込み	46
補強内容の入力	47
補強結果の表示	49
補強部材の耐力	50
積雪量を変更後の再計算	51
柱頭・柱脚の接合部仕様変更後の再計算	51
 (伏図の作図)		
伏図の作図	52
火打ちの入力	52
 (軸組図の作成)		
軸組図のワークシート作成	53
軸組図作成	53